

Panasonic

SS画像無線送受信機

取扱説明書

品番 TD5515U66

技術基準適合証明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。



上手に使うって上手に節電

もくじ

製品の特徴	2
本書の使いかた	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	5
各部の名前と働き	6
基本操作	10
通信のしかた	12
データ伝送	16
シリアルデータ伝送による回転台の制御	16
パラレルデータ伝送による回転台の制御	17
外部制御	18
センサー連動による通信のしかた	18
パラレル入力端子を使った制御	19
パソコンでの制御	20
システム設定	
メニューの操作のしかた	21
通信モードの設定	23
IDの設定	24
シリアルポートの設定	25
センサー入力に関する設定	26
外部制御の設定	27
メニュー設定項目一覧	28
こんなときには	29
付属品について	30
別売り品について	30
接続のしかた	31
接続例	31
ピン配列	35
インターフェース仕様	36
仕様	56

はじめに

操作のしかた

設定のしかた

その他

接続

このたびは、SS画像無線送受信機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

製品の特徴

SS無線伝送方式¹で、映像、音声、データを約1km²まで無線伝送。

- 1 MbpsのSS無線モデムと、H.261 (ITU規格) により、高画質な映像を伝送できます。
- 最大30フレーム/秒のスムーズな動画像を送受信できます。
- ADPCMの採用により、クリアな音声を送受信できます。
- SS方式採用により、妨害電波やノイズ等の影響を受けにくく、受信安定性に優れています。

マルチパス、フェージングに強い、SR - chirp³方式を採用。

当社独自のSR - chirp方式採用により、マルチパス (反射波) フェージング (高速移動) に強く、安定した伝送が可能です。

同一空間で3ch同時に使用可能

使用するチャンネルを切り替えて使用することによって、3セット同時に別々の映像や音声、制御信号を伝送できます (ご使用になる環境によっては、伝送距離が短くなる場合があります)。

10地点まで相手局IDを登録可能

相手局IDを10地点まで登録しておくことができます。登録した相手局は操作器 (WJ-SSK200 : 別売り) でダイレクトに呼び出すことができます。

- 1 : SS (Spread Spectrum:スペクトラム拡散) 無線伝送方式とは一次変調された信号に特殊な符号を掛け合わせる (二次変調) ことで、周波数成分 (スペクトラム) を広帯域に拡散させて伝送する通信方式です。
- 2 : 見通しの良い場所での伝送距離です。使用するチャンネルや通信条件によっては伝送距離が短くなる場合があります。
- 3 : 松下独自の通信方式です。Chirp信号で拡散した信号を受信側でサブバンド受信 (Subband Reception) を行う方式で、従来のSS方式に比べ高速伝送時の耐マルチパス性と耐妨害性を飛躍的に向上させています。

本書の使いかた

本書では、以下の記号を用いて説明しています。

[] : TD5515U66のコネクター、スイッチ、操作器 (WJ-SSK200 : 別売り) を表しています。

{ } : メニューの名前または選択項目を表しています。

[メモ] : お使いになる上で知っておいてもらいたいことなどについて説明しています。

なお、説明中に使用しているイラストはSS画像無線送受信機 (TD5515U66) を使用しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

医用電気機器に近づけない (手術室、集中治療室、CCU などには持ち込まない)



本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

航空機内では電源を切る



運行の安全に支障をきたす恐れがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に設置しない



火災や感電の原因となります。

禁止

指定以外の装置を接続しない



けがなどの原因になることがあります。

禁止

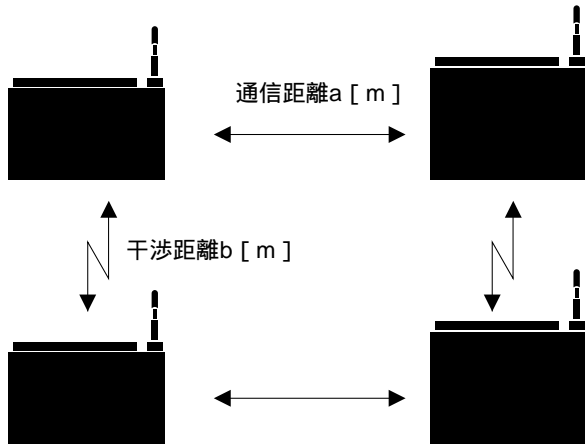
使用上のお願い

上手にお使いいただくために、以下のことをお守りください。

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは、電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）について相談してください。
 3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：松下通信工業株式会社
AVシステム事業部
☎045-932-1231（大代表）
- バッテリーをご使用になる場合は、次のことを必ずお守りください。発熱・発火・破裂の原因となります。
 - ・専用の充電器以外は使わないでください。
 - ・端子部を他の金属と接触させないでください。
 - ・ハンマーでたたくなど強い衝撃を加えたり、変形、落下させたりしないでください。
 - ・分解、改造（はんだ付けなどの加工など）はしないでください。
 - ・加熱したり、火の中へ投入したりしないでください。
 - ・火のそばや炎天下など高温の場所で使用、充電、放置はしないでください。
- バッテリーの使用について
バッテリー使用時の稼働時間は常温（25℃）VW-VBD2で約90分です。稼働時間は周囲の環境（温度など）やバッテリーの充電具合によって短くなることがあります。予備のバッテリーをご用意ください。
- アンテナの設置について
 - ・地面から1.5m以上高い位置に設置してください。アンテナの特性上、設置位置が低いと伝送距離が短くなります。
 - ・付属のアンテナは水平方向に無指向の特性を持っていますが、垂直方向には電波をほとんど発射しません。このため、アンテナの設置のしかたによっては伝送距離が短くなります。
- アンテナは取り外さないでください。
アンテナを付けたたり、外したりを繰り返すと、アンテナの接点が摩耗し接触不良を起こす原因となります。接触不良を起こすと、伝送距離（通信距離）が短くなります。
- 違法改造しないでください。
本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。
- 単方向受信設定以外で、高利得アンテナやアンプは使用しないでください（法律に定められた送信出力を超えるためです）。

- **チャンネル間の干渉について**

SS画像無線送受信装置は3つの周波数を同時に使用できません。しかし、配置のしかたによっては異なる周波数の端末間で干渉しあい、通信が切れることがあります。下記の表を参考に端末を設置してください。



通信距離(見通し) a [m]	干渉距離b [m]	
	1ch - 2ch	1ch - 3ch
	2ch - 3ch	
100m	2m	1m
300m	5m	3m
500m	8m	5m
1km	15m	10m

- **妨害電波について**

通信中に同じ周波数の妨害電波を受信すると、通信が切断されます。当社製品間でも同じ周波数を使用している場合、通信が不安定になり切断されることがあります。または、どちらか強い電波の装置に再接続されることがあります。

- **画質の乱れについて**

自動車などの速い動きの被写体の映像を送信すると受信映像に残像が発生することがあります。

- **本機を携帯または運搬して使用する場合は、本体ケースをつけたままご使用ください。**

- **直射日光の当たる場所での使用はさけてください。**

高温下での使用は避けてください。

- **ていねいにお取り扱いください。**

落下させたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

- **使用温度範囲以外の場所への設置や使用はやめてください。**

0 以下の寒いところや、45 以上の暑いところには設置しないでください。

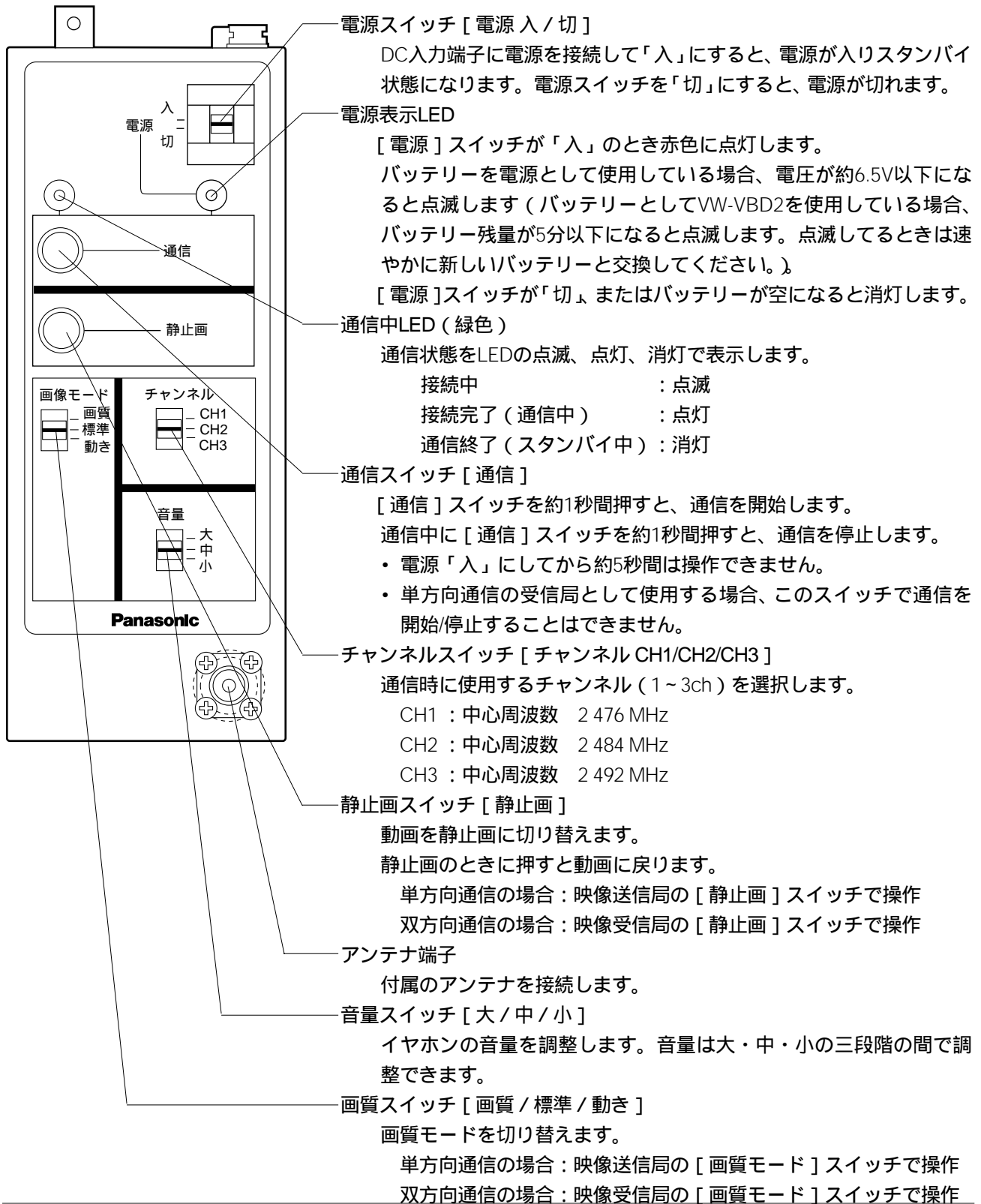
- **ちゅう房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。**

- **お手入れについて**

電源を切って乾いた布でふいてください。ホコリがとれにくいときは、薄めた台所用洗剤をやわらかい布にしみこませ、よくしぼり軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

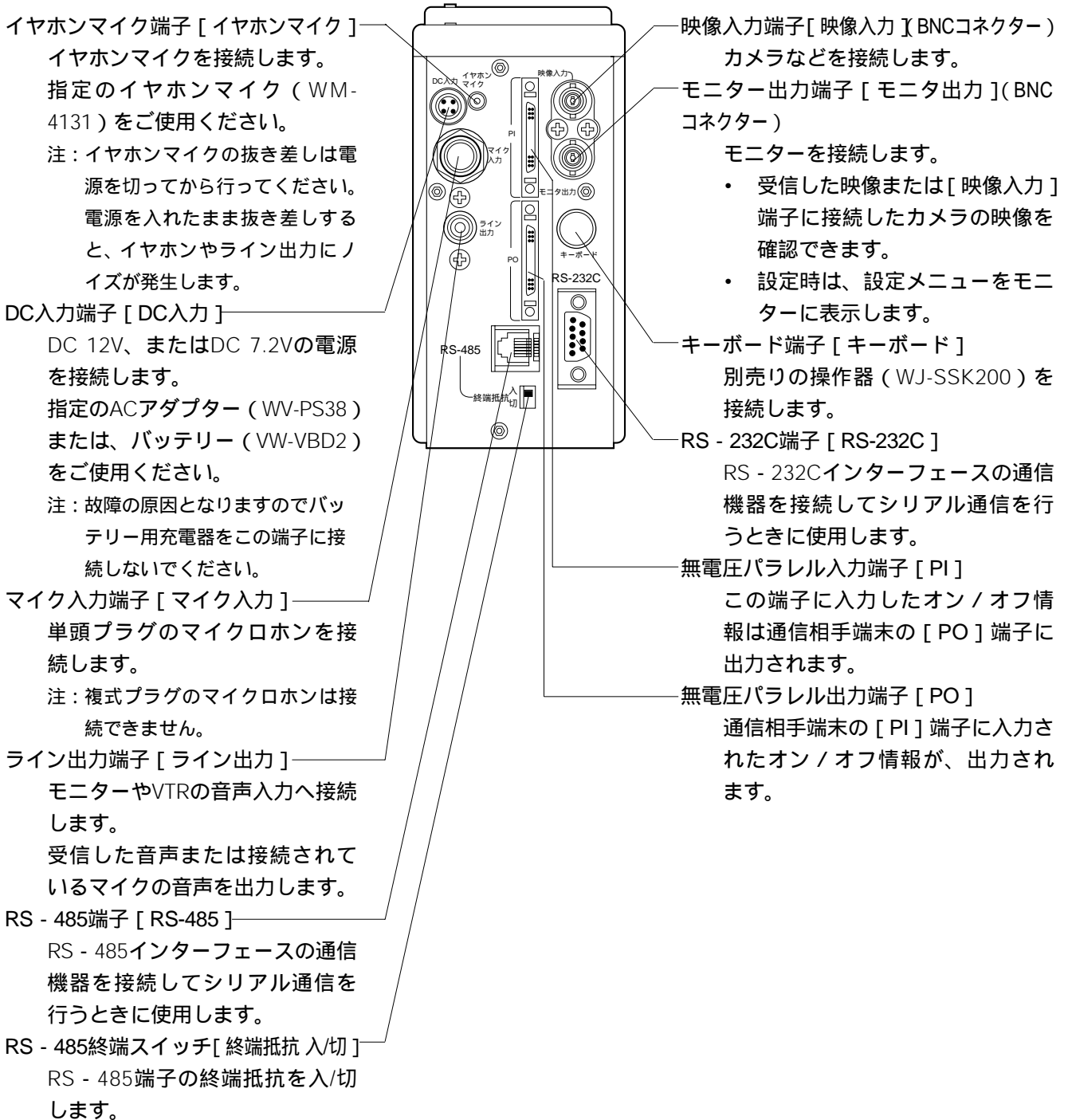
各部の名前と働き

SS画像無線送受信機 (TD5515U66) の上面



各部の名前と働き

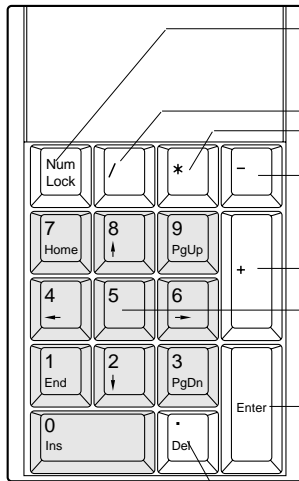
SS画像無線送受信機 (TD5515U66) の側面



各部の名前と働き

操作器 (WJ-SSK200 : 別売り)

操作器は電源を入れる前に接続してください。



[Num Lock]

使用しません。

[/]

メニューを表示します。

[*]

使用しません。

[-]

使用しません。

[+]

使用しません。

テンキー

スタンバイ時 : [アイテキョクID] を呼び出します。

設定時 : 数値の入力や、カーソル移動に使用します。

[Enter]

スタンバイ時 : テンキーで呼び出した [アイテキョクID] と通信を開始します。

通信時 : 通信を終了します。

設定時 : トップ画面から詳細設定画面へ移動します。または項目選択、または入力データを確定します。

[.]

スタンバイ時 : テンキーで呼び出した [アイテキョクID] を取り消します。





通信時 : 通信を終了します。

設定時 : メニュー設定のトップ画面表示しているときに押すと、設定メニューを消去し設定操作を終了します。詳細設定画面を表示しているときに押すと、トップ画面に戻ります。



項目選択の解除、設定を取り消します。

メニュー設定時のテンキー動作

メニュー設定時のテンキー動作

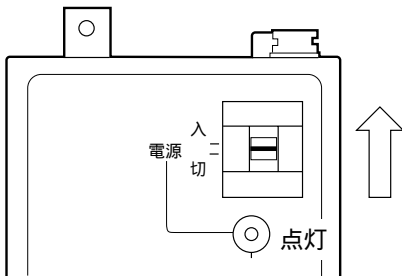
-  : 上方向にカーソルを移動します。
-  : 下方向にカーソルを移動します。
-  : 左方向にカーソルを移動します。
-  : 右方向にカーソルを移動します。

数値データを入力するときは、

 ~  : 押されたキーの数値を入力します。

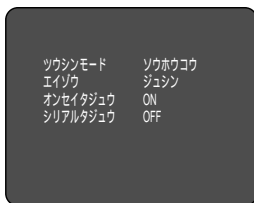
基本操作

電源の入れかた

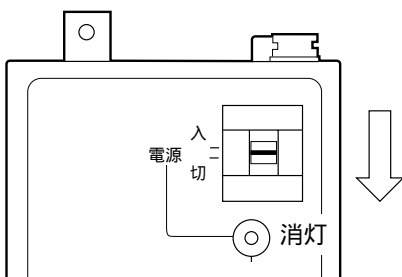


[電源]スイッチを「入」側にします。
[DC入力]端子に、電源が供給されている状態で、[電源]スイッチを「入」側にすると、電源が入り、スタンバイ状態になります。
このとき、[電源LED]が点灯します。
スタンバイ状態の時に、通信スイッチを押すか、または、相手局からの通信開始要求によって自動的に通信状態になります。

電源投入後、約5秒間、端末の通信設定内容を画面に表示します。

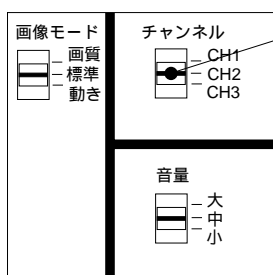


電源の切りかた



[電源]スイッチを「切」側にします。
このとき、[電源LED]が消灯します。

周波数チャンネルの設定



[チャンネル]スイッチで使用する周波数を切り替えます。

CH1 : 中心周波数 2 476 MHz
CH2 : 中心周波数 2 484 MHz
CH3 : 中心周波数 2 492 MHz

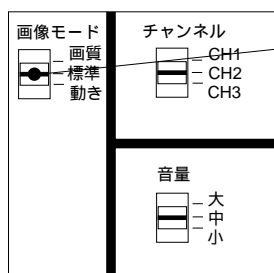
[メモ]

- {ガイブセイギョ}の設定が「パラレル」または「シリアル」の場合 [チャンネル]スイッチの設定は無効となります。
- 通信を行う端末のチャンネルは同じチャンネルに設定してください。
- 隣接するエリアで複数のセットを同時に使用する場合には、セットごとにチャンネルを変えてご使用ください。
- チャンネルの変更は、通信を切断してから行ってください。通信中に切り替えると通信を終了します。

基本操作

画質の設定

- 単方向通信の場合は、映像送信局の [画質モード] スイッチで設定します。
- 双方向通信の場合は、映像受信局の [画質モード] スイッチで設定します。
- { ガイブセイギョ } の設定が「パラレル」または「シリアル」の場合、[画質モード] スイッチの設定は無効となります。



[画質モード] スイッチにより画質の設定を行います。

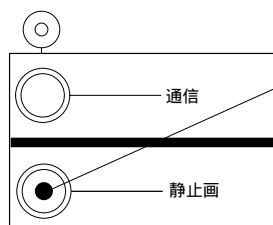
[画質] : 標準のモードより画質は良くなります。ただし、画面の動きは遅くなります。

[標準] : 標準のモードです。通常はこの設定にします。

[動き] : 標準のモードより画面の動きは速くなります。ただし、画質が悪くなります。

静止画の設定

- 単方向通信の場合は、映像送信局の [静止画] スイッチで設定します。
- 双方向通信の場合は、映像受信局の [静止画] スイッチで設定します。
- { ガイブセイギョ } の設定が「パラレル」または「シリアル」の場合、[静止画] スイッチの設定は無効となります。

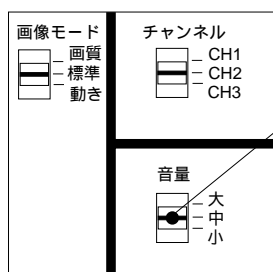


[静止画] スイッチで動画、静止画を切り替えます。

[静止画] スイッチを約1秒間押すと、モニターの映像が静止画になります。

動画に戻すときは、もう一度 [静止画] スイッチを約1秒間押してください。

音量の調整



[音量] スイッチで、イヤホンの音量を調整します。

注：電波の状況によってはノイズが発生します。ノイズから耳を保護するためにも、通常は [小] に設定してお使いください。

[大] : 音量を最大にします。

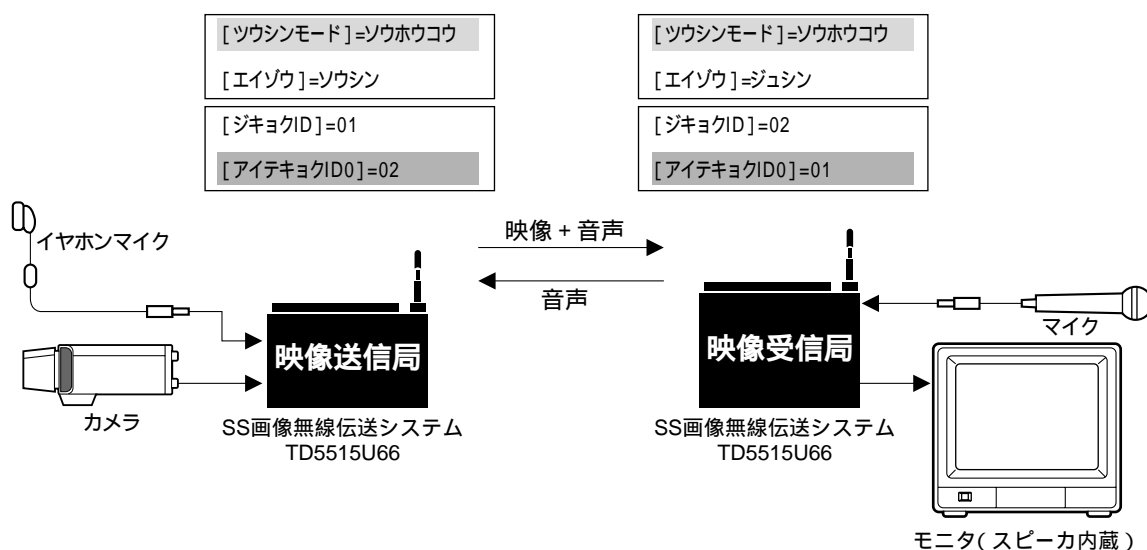
[中] : 音量を大きくします。

[小] : 音量を最小にします。通常は [小] に設定します。

通信のしかた

通信開始のしかた（双方向通信の場合）

1. 映像送信局、映像受信局の [電源] スイッチを「入」にします。
2. 通信を開始する前に機器の設定を行います（下図 部のように設定します）。
3. 映像送信局、映像受信局の [チャンネル] スイッチを同じチャンネルに設定します。
4. 映像送信局または映像受信局の [通信] スイッチを約1秒間（[通信LED] が点灯するまで）押します。
 - 通信が開始されると [通信中LED] が点灯し { アイテキョクID0 } の端末と通信を開始します。
 - 通信が始まると、[通信中LED] が点灯し、映像送信局からの映像が受信局側のモニターに映し出されます。
 - 双方向の音声通信ができます。
 - [通信] スイッチを押しても相手局からの応答が無い場合、[通信中LED] は点滅します。約10秒間応答がないと [通信中LED] は消灯し、スタンバイ状態に戻ります。



[メモ]

- 伝送距離は見通しの良い場所で約1kmです。ただし、チャンネルによって伝送距離が異なることがあります。また、端末間の距離が短くても人物や建物、樹木の陰に入ると通信できないことがあります。
- 電波状況によっては音声にノイズが発生することがあります。
- メニューを表示している間、通信はできません。
- [電源LED] が点滅したら予備のバッテリーと交換してください。バッテリーが消耗すると通信できる距離が短くなり、通信が途切れる（[通信中LED] が消灯する）ことがあります。

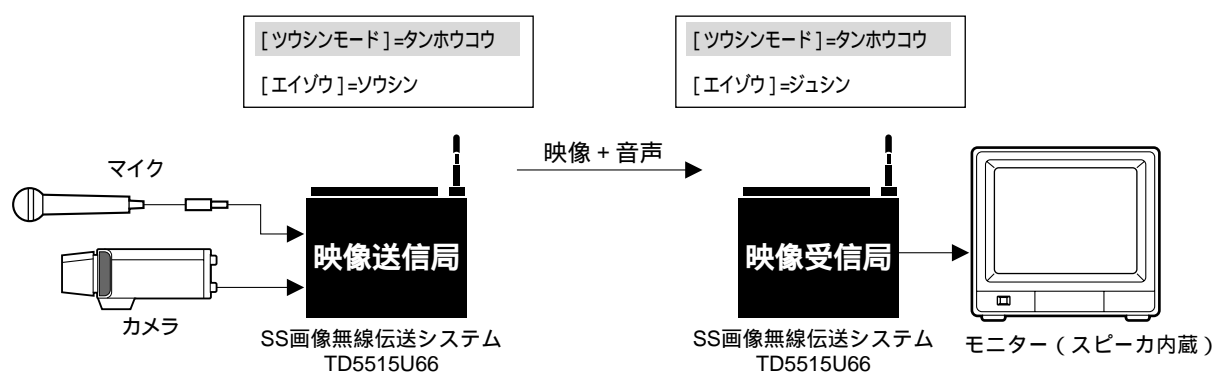
通信停止のしかた（双方向通信の場合）

1. 通信中に映像送信局または、映像受信局の [通信] スイッチを約1秒間（LEDが消灯するまで）押します。
2. 使用をやめるときは電源スイッチを「切」にします。

通信のしかた

通信開始のしかた（単方向通信の場合）

1. 映像送信局、映像受信局の [電源] スイッチを「入」にします。
2. 通信を開始する前に機器の設定を行います（下図 部のように設定します）。
3. 映像送信局、映像受信局の [チャンネル] スイッチを同じチャンネルに設定します。
4. 映像送信局の [通信] スイッチを約1秒間（[通信LED] が点灯するまで）押します。
 - [通信] スイッチを1秒間押すと、通信を開始します。
 - [通信中LED] が点灯し、カメラからの映像がモニターに映し出されます。
 - 映像送信局の音声が映像受信局でモニターできます。



[メモ]

- 映像受信局からの通信開始はできません。
- 単方向通信時、映像送信局は通信状態になると [通信中LED] が点灯します。[通信中LED] は、映像受信局が受信していなくても点灯します。受信状態をご確認の上、ご使用ください。
- 伝送距離は見通しの良い場所で約1kmです。ただし、チャンネルにより伝送距離が異なることがあります。端末間の距離が短くても人物や建物、樹木の陰に入ると通信できないことがあります。
- 映像受信局は電源を入れるとスタンバイ状態になります。
- 電波状況により、通信開始のとき音声中にノイズが発生することがあります。
- メニュー設定時は、通信できません。
- [電源LED] が点滅したら予備のバッテリーと交換してください。バッテリーが消耗すると通信できる距離が短くなり、通信が途切れることがあります（送信局側の [通信中LED] が点灯していても受信局側で受信できないことがあります）。

通信停止のしかた（単方向通信の場合）

1. 通信中に映像送信局の [通信] スイッチを約1秒間（[通信中LED] が消灯するまで）押します。
2. 使用をやめるときは電源スイッチを「切」にします。

通信のしかた

操作器による通信のしかた(双方向通信の場合)

映像送信局が3台、映像受信局が1台のシステムで、映像受信局から操作器で3台の映像送信局を切り替えて通信する場合を例に説明します。

1. 映像送信局、映像受信局の [電源] スイッチを「入」にします。
2. 通信を開始する前に機器の設定を行います。

以下の例を元に説明します。

[例]

映像送信局0のID : 010

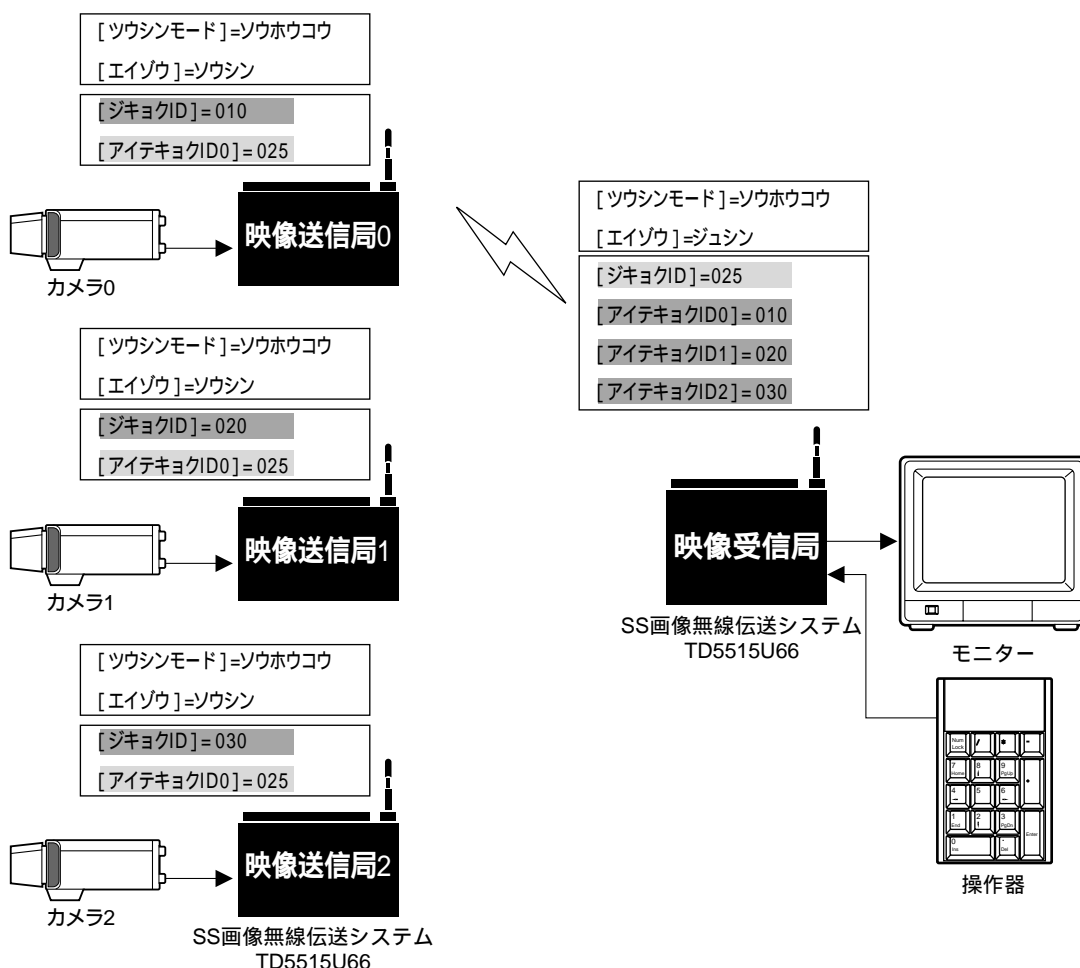
映像送信局1のID : 020

映像送信局2のID : 030

映像受信局のID : 025


上記の場合、下図 部ののように設定します。


3. 設定を変更したら電源スイッチを入れ直した後、各機器の [チャンネル] スイッチを同じチャンネルに設定します。



通信のしかた

4. 相手局ID を [テンキー] で入力します。

映像送信局0 (アイテキョクID0) と通信する場合 :  を入力

映像送信局1 (アイテキョクID1) と通信する場合 :  を入力

映像送信局2 (アイテキョクID2) と通信する場合 :  を入力

[テンキー] で相手局を入力すると、モニターに相手局IDのメモリー番号と相手局IDが表示されます。

{ IDセッテイ } メニューの項目 { アイテキョクIDn } の “ n ” を入力します。


5. を入力します。

[テンキー] で入力した相手と通信を開始します。

[例] 映像送信局0と通信を行う場合、次のように操作します。

-  を入力します。


IDのメモリー番号と相手局ID「ID0 (010)」が表示されます。

-  を押します。



映像送信局0と映像受信局が通信を開始します。

双方の [通信中LED] が点灯し、カメラ0からの映像がモニターに映し出されます。

6. 通信を終了する、または相手局を切り替えるときは を押して通信を切断します。

- 通信を切断すると、双方の [通信中LED] が消灯し、モニターの映像が消えます。
- 相手局を切り替えるときは  を押し、現在接続されている通信を切断してから、相手局IDを [テンキー] で入力します。

[メモ]

- [テンキー] での通信開始/停止操作は映像送信局/受信局どちらからでも操作できます。
- [テンキー] を複数回押した場合 (複数個所の相手局を連続して入力した場合)  を押す直前の [テンキー] 入力が有効となります。
- [テンキー] で入力した相手局IDを取り消すときは  キーを押します。
- [テンキー] を押した後、約5秒間キー入力がない場合、入力は無効となります。

データ伝送

映像送信局および受信局にSS画像無線送受信機TD5515U66を使用すれば、シリアルまたはパラレルデータを伝送して、回転台などの機器を外部から操作できます。

シリアルデータ伝送による回転台の制御

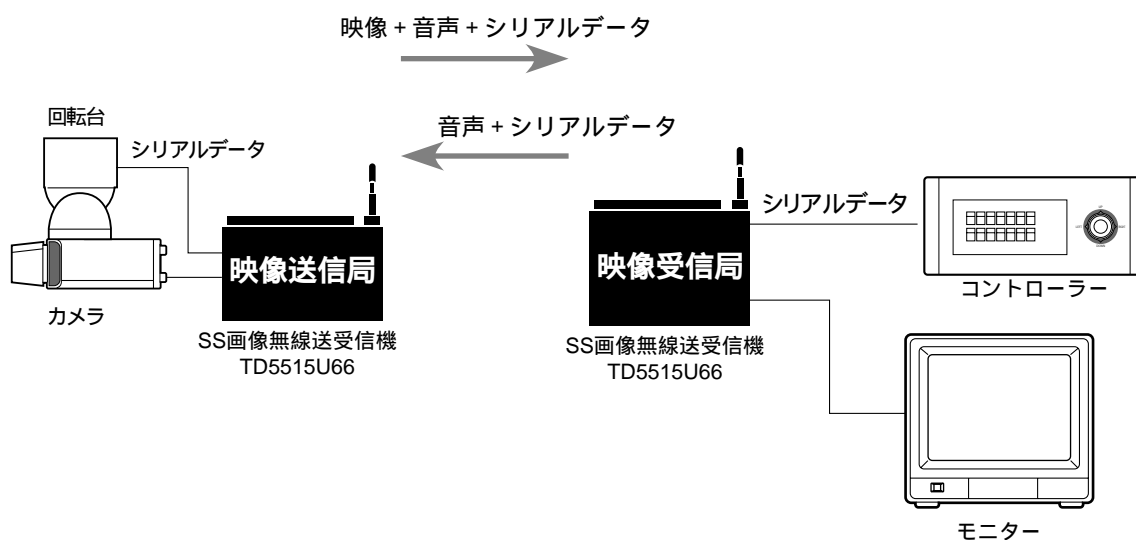
[RS-232C]/[RS-485] 端子を使ってシリアルデータを伝送し、相手局に接続された回転台などの機器を制御できます。

シリアルデータ伝送を行う場合、以下に示すようにシステムの設定を変更してください。映像送信局、受信局、どちらも同じ設定にしてください。

- (1) { ツウシンセッテイ } メニューの { シリアルタジュウ } 項目を「232C」または「485」を選択する。
- (2) { シリアルセッテイ } メニューの設定を使用する外部機器（コントローラーなど）の仕様に合わせ、変更する。

[メモ]

- 本装置では、BCHによるエラー訂正を行っていますが無線状態が悪化した場合、誤ったデータを伝送したり、データ抜けが発生することがあります。外部機器にて十分なエラー対策を施してください。



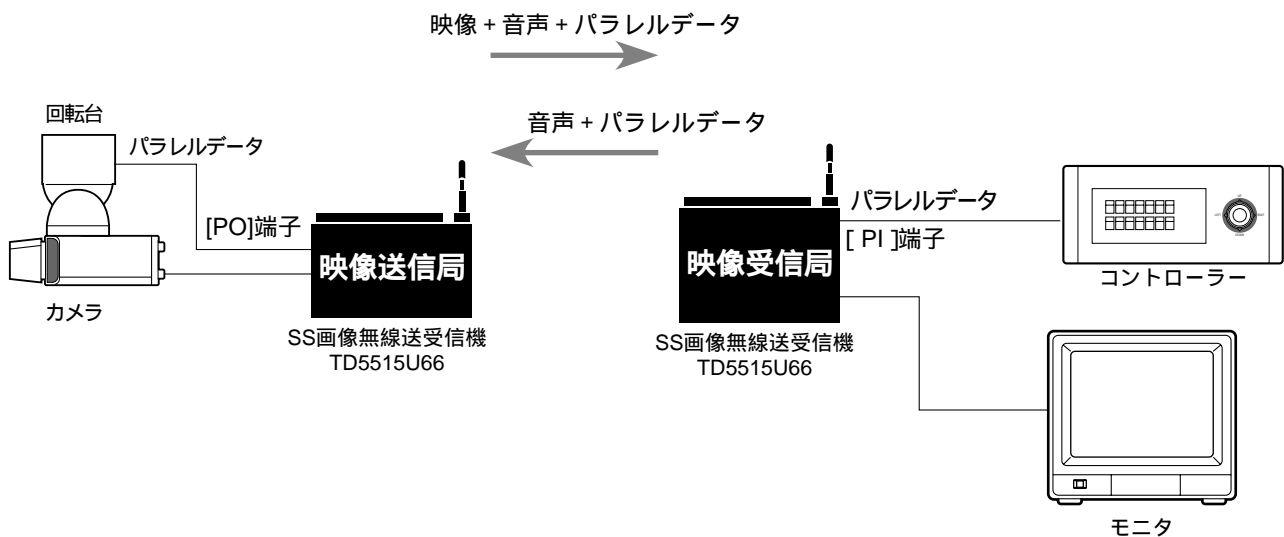
データ伝送

パラレルデータ伝送による回転台の制御

[PI] および [PO] 端子を使ってパラレルデータを伝送し、相手局に接続された回転台などの機器を制御できます (16個の接点情報をパラレルデータとして伝送できます)。

[メモ]

- {センサーセッテイ}メニューの{センサー}項目を「トリガ」または「レベル」に設定している場合、[PI] 端子のbit0は回転台などの制御には使用できません。bit0は通信開始/停止制御に使用されるためです。
- {ガイブセイギョ}メニューの{セイギョ}項目を「パラレル」に設定している場合、bit0~5は回転台などの制御には使用できません。通信開始/停止、画質モードの設定、静止画の制御、チャンネルの設定に使用されるためです。



外部制御

センサー連動による通信のしかた

TD5515U66はセンサー入力端子（パラレル入力端子のbit0）にセンサーを接続することによって、センサーと連動して通信を開始できます。

センサー機器から信号が入力されると、{ アイテキョクID0 }に登録されている相手局へ自動的に発信し、通信を開始します。

センサー連動による通信では、{ センサー }項目の設定によりセンサー入力方法をレベル入力/トリガ入力から選択できます。

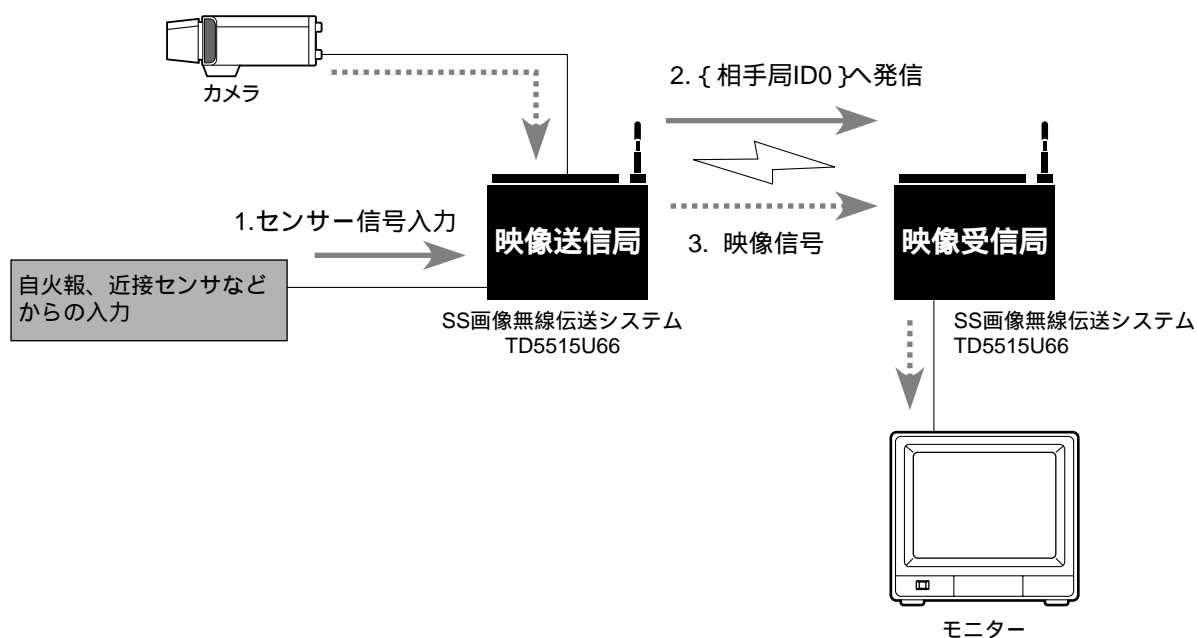
レベル入力：センサー入力端子がONの状態のとき通信を行います。センサー入力端子がOFFになるまで通信を続けます。一度手動で通信を切断しても、センサー入力がONの場合、自動的に通信を再開します。

本体の[通信]スイッチは無効となります。

トリガ入力：センサー入力端子がOFFからONに変化した場合、通信を開始します。

通信を開始してから{通信タイマ}項目で設定した時間が経過すると自動的に通信を終了します。[通信]スイッチでも切断できます。

センサーによる操作と信号の流れの例



[メモ]

センサーと連動して通信を行うためには、以下の内容をシステムに設定しておく必要があります。

- (1) 自局ID、相手局ID0の設定
- (2) センサー入力方法の選択
- (3) 通信タイマの設定 ({センサー入力}が「トリガ」のとき)

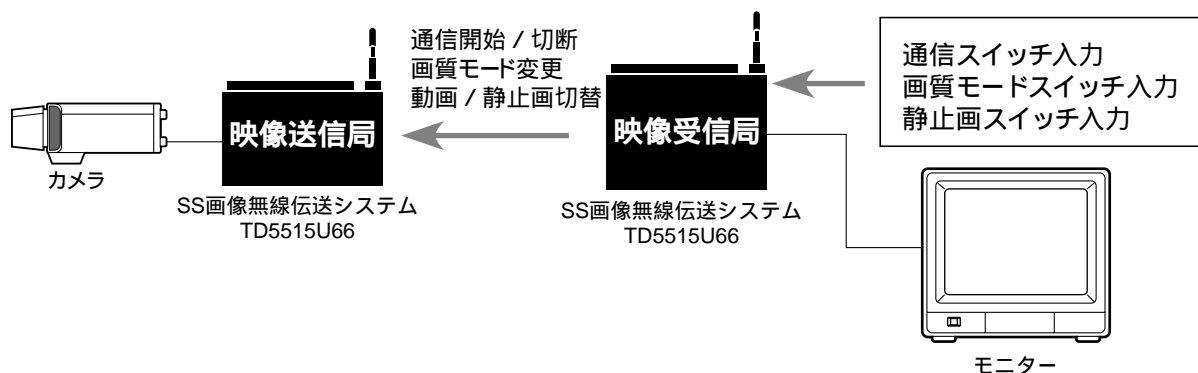
外部制御

パラレル入力端子を使った制御

TD5515U66はパラレル入力端子を利用して [通信] [画質モード] [静止画] などのスイッチを外部から制御できます。

パラレル入力端子を使用する場合、{ ガイブセイギョ } メニューの { セイギョ } 項目に「パラレル」を設定してください。

パラレル入力端子	操 作 名	動 作															
bit 0	通信スイッチ	OFFからONへ状態変化するごとに、通信開始、停止を行います。 { 相手局ID0 } で設定した相手と通信します。															
bit 1 bit 2	画質モードスイッチ	双方向通信の場合は受信局の、単方向通信の場合は送信局の端子入力により画質モードを設定します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>bit 2</th> <th>bit 1</th> <th>画質モード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>標準</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>動き優先</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>画質優先</td> </tr> </tbody> </table>	bit 2	bit 1	画質モード	OFF	OFF	標準	OFF	ON	標準	ON	OFF	動き優先	ON	ON	画質優先
bit 2	bit 1	画質モード															
OFF	OFF	標準															
OFF	ON	標準															
ON	OFF	動き優先															
ON	ON	画質優先															
bit 3	静止画スイッチ	双方向通信の場合は受信局の、単方向通信の場合は送信局のOFFからONへ状態変化するごとに、静止画 / 動画を切り替えます。															
bit 4 bit 5	周波数チャンネル切替スイッチ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>bit 5</th> <th>bit 4</th> <th>使用チャンネル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>1ch</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>2ch</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>3ch</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>1ch</td> </tr> </tbody> </table>	bit 5	bit 4	使用チャンネル	OFF	OFF	1ch	OFF	ON	2ch	ON	OFF	3ch	ON	ON	1ch
bit 5	bit 4	使用チャンネル															
OFF	OFF	1ch															
OFF	ON	2ch															
ON	OFF	3ch															
ON	ON	1ch															



[メモ]

{ センサー } が「レベル」や「トリガ」に設定されている場合、パラレルポートでの外部制御はできません。センサー設定が優先されます。

外部制御

パソコンでの制御

RS-232CまたはRS-485端子を利用してパソコンから次の項目を操作できます。

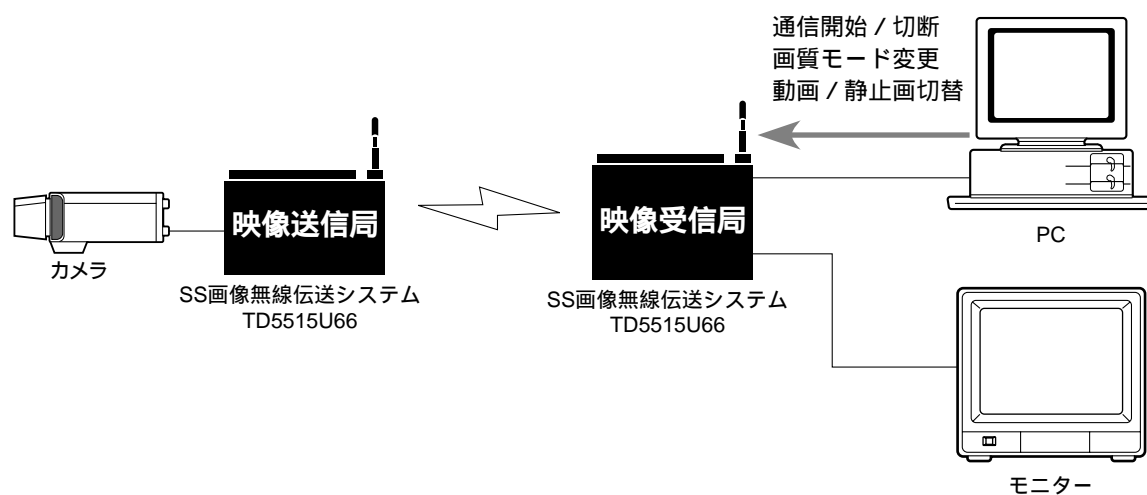
- 通信開始/停止
- 画質モードの設定（映像受信局のみ）
- 動画/静止画切り替え（映像受信局のみ）
- メニュー設定項目

詳しくは「インターフェース仕様」を参照してください。

パソコンを接続して操作する場合、以下に示すようにシステムの設定を変更してください。映像送信局、受信局、どちらも同じ設定にしてください。

- (1) { ガイブセイギョ } メニューの { セイギョ } 項目を「シリアル」変更する。
- (2) { ツウシンセツテイ } メニューの { シリアルタジュウ } 項目の設定内容によって外部制御で使用できる端子が変わります（下表参照）。

{ シリアルタジュウ } の設定	データ伝送用端子	外部制御用端子
OFF	-	[RS-232C] 端子
232C	[RS-232C] 端子	[RS-485] 端子
485	[RS-485] 端子	[RS-232C] 端子



システム設定

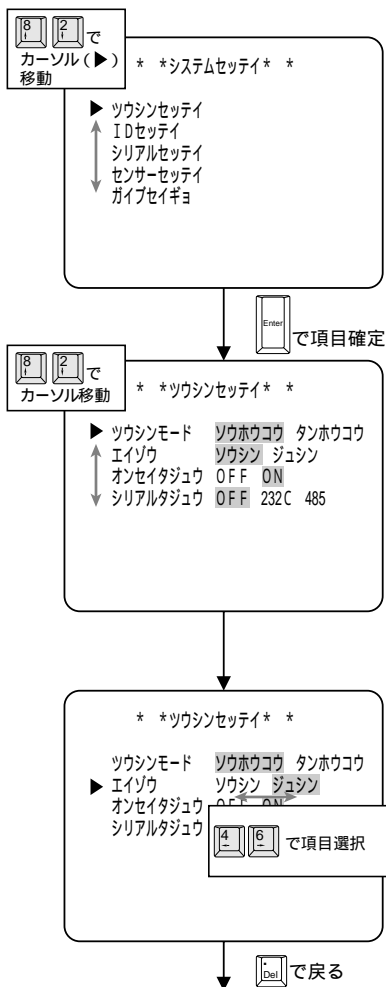
メニューの操作のしかた

操作器は電源投入前に接続しておいてください。

メニューを開くときは、通信を終了してから行ってください。通信中はメニューの操作はできません。

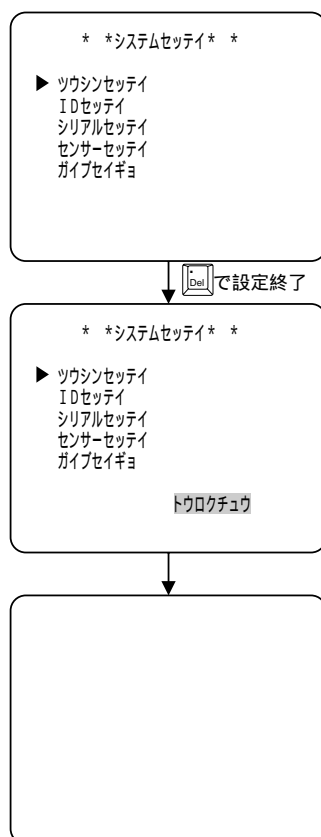
メニューの操作方法


ここでは、映像を受信する場合を例にメニューの基本的な操作方法を説明します。



1. [8] を押します。
{システムセッテイ}メニューが表示されます(トップ画面)。
2. [8] または [2] で、カーソルを上下に移動します。
[8] または [2] で、{ツウシンセッテイ}にカーソルを移動します。
3. Enter を押します。
Enter を押すと {ツウシンセッテイ}画面が表示されます。
4. [8] または [2] でカーソルを動かし、設定したい項目にカーソルを移動します。
ここでは、{エイゾウ}を選択してください。
5. [4] または [6] で設定内容を選択します。
選択中の設定内容が反転表示されます。
ここでは、{ジュシン}を選択してください。
6. Enter を押します。
1つ前の画面に戻ります。
この場合、{システムセッテイ}メニューに戻ります。

システム設定



7. {システムセットイ}メニューに戻ったら  をもう一度押します。画面に「トウロクチュウ」と表示されます。「トウロクチュウ」の表示が消え、メニューが消えたら、登録完了です。

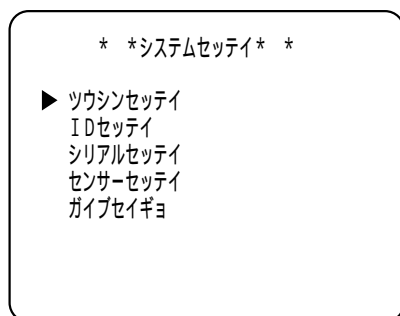
[メモ]

「トウロクチュウ」が表示されているときに電源を切らないでください。設定したデータが正しく保存されない場合があります。

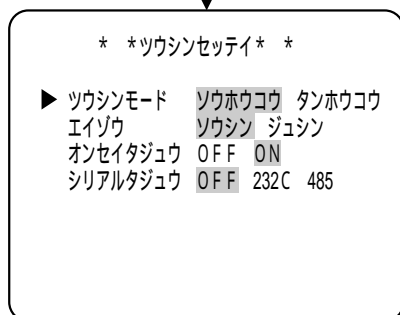
システム設定

通信モードの設定

・通信を行うための設定を行います。通信する相手局と設定を合わせてください。



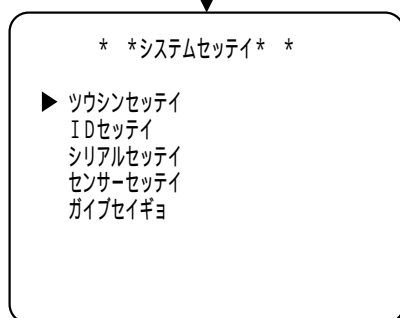
で項目確定




設定作業



で戻る

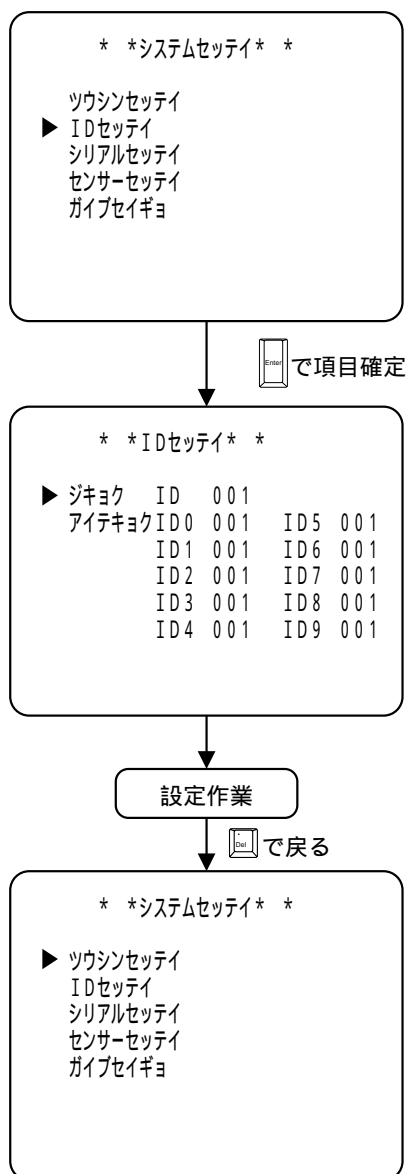


- { ツウシンセッテイ } 画面を開きます。
- { ツウシンモード } を選択し、双方向通信か、単方向通信かを選択します。
ソウホウコウ：映像単方向、音声の双方向通信を行います。
タンホウコウ：映像、音声の単方向通信を行います。
- { エイゾウ } を選択し、映像を送信するか、受信するかを選択します。
ソウシン：映像を相手局へ送信します。
ジュシン：相手局からの映像を受信します。
- { オンセイタジュウ } を選択し、音声を多重し送信するか、しないかを選択します。
OFF：音声を送信しません。相手局からの音声も受信しません。
ON：音声を相手局へ送信します。
- { シリアルタジュウ } を選択し、シリアルポートのデータを多重し送信するかどうかを選択します。
OFF：シリアルポートのデータを送受信しません。
232C：[RS-232C] 端子のデータを相手局と送受信します。
485：[RS-485] 端子のデータを相手局と送受信します。
- 設定が終了したら、 を押して、{ システムセッテイ } 画面へ戻ります。

システム設定


IDの設定


- 10地点までの相手局にIDを設定できます。
- IDを設定する事により、操作者の [テンキー] で相手局をダイレクトに呼び出すことができます。
- 登録されている相手局からの通信開始要求で通信を開始できます。
- 単方向通信でご使用の場合、IDの設定は必要ありません。




1. { IDセッテイ } 画面を開きます。

2. { ジキョクID } を選択し、端末のIDを設定します。


{ ジキョクID } へカーソルを移動して  を押します。カーソルが反転表示され、IDが「 - - - 」で表示されます。「 - - - 」に [テンキー] で1～254の中から任意のIDを入力します。


IDを入力したら、 を押して設定を確定します。カーソルの表示が通常に戻ります。

3. { アイテキョクID0 } を選択し、通信する相手局のIDを設定します。
1～254の中から任意のIDを設定します。

IDを入力したら、 を押して設定を確定します。

4. 必要に応じて { ID1 } から { ID9 } を同様に設定します。

5. 設定が終了したら、 を押して、{ システムセッテイ } 画面へ戻ります。

6. もう一度  を押すと、メニュー設定を終了します。

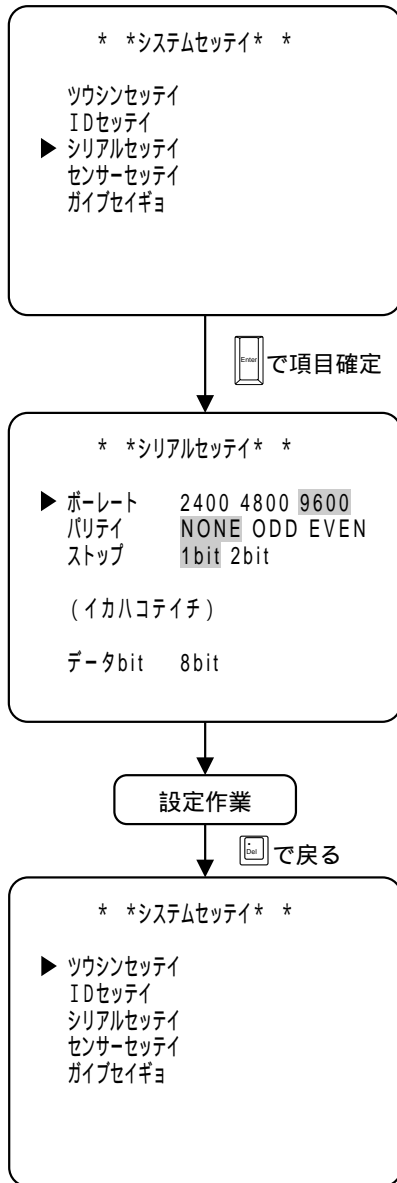
[メモ]

- IDの設定では255以上の値は無効となります。
- 1対1のシステムで使用する場合、自局ID、相手局IDとも設定する必要はありません。初期設定の「001」のままでも通信可能です。
- 異なるシステムとの通信を無効にしたいときは、システムごとに独自のIDを設定してください。

システム設定

シリアルポートの設定

RS - 232CまたはRS - 485ポートと接続する外部接続機器とのシリアル通信設定を行います。



1. {シリアルセッテイ} 画面を開きます。
2. {ボーレート} を選択し、外部接続機器とのシリアル通信のボーレートを設定します。
2400 : 2 400bpsで外部機器と通信します。
4800 : 4 800bpsで外部機器と通信します。
9600 : 9 600bpsで外部機器と通信します。
3. {パリティ} を選択し、シリアル通信のパリティビットの設定をします。
NONE : パリティビットなしの設定です。
ODD : 奇数パリティに設定します。
EVEN : 偶数パリティに設定します。
4. {ストップ} を選択し、シリアル通信のストップビットの設定をします。
1bit : ストップビットを1ビットに設定します。
2bit : ストップビットを2ビットに設定します。
5. 設定が終了したら、 を押して、{システムセッテイ} 画面へ戻ります。
6. もう一度 を押すと、メニュー設定を終了します。

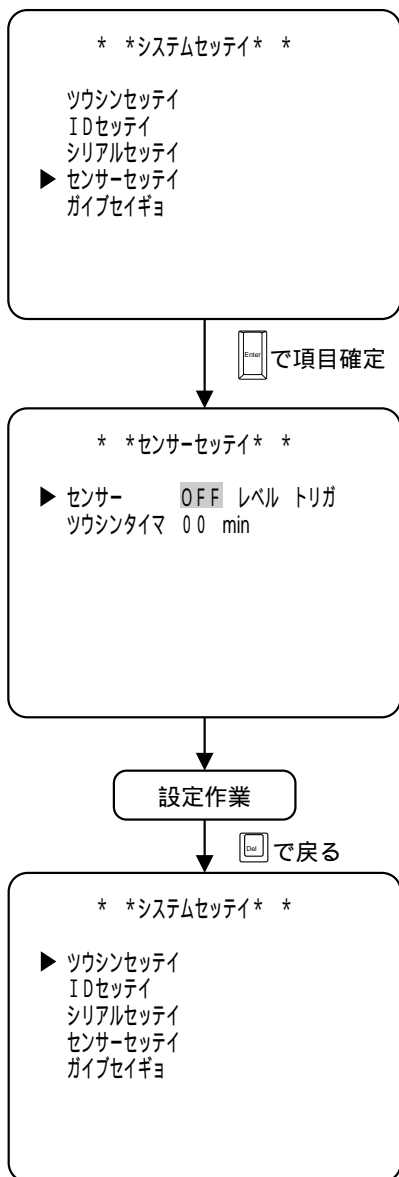
[メモ]

- 本装置では、BCHによるエラー訂正を行っていますが無線状態が悪化した場合、誤ったデータを伝送することがあります。外部機器でも十分なエラー対策を施してください。





システム設定

センサー入力に関する設定

外部センサー装置からの信号によって発信する場合の設定を行います。



- { センサーセッテイ } 画面を開きます。
- { センサー } を選択し、センサー入力の種別を選択します。
 - OFF : センサー入力による通信を行いません。
 - レベル : センサー入力ONの状態のとき通信を行います。
センサー入力がOFFになるまで通信を行います。
 - トリガ : センサー入力がOFFからONに状態変化した場合に通信を開始します。
通信の切断は { ツウシнтаイマ } で設定した時間で自動的に行います。
- { ツウシнтаイマ } を選択し、トリガで発信したときの通信継続時間の設定をします。

一度  を押して、カーソルを反転表示させてから、[テンキー] から直接数値を入力します。通信継続時間を入力したら、 を押して確定します。
- 設定が終了したら、 を押して、{ システムセッテイ } 画面へ戻ります。
- もう一度  を押すと、メニュー設定を終了します。

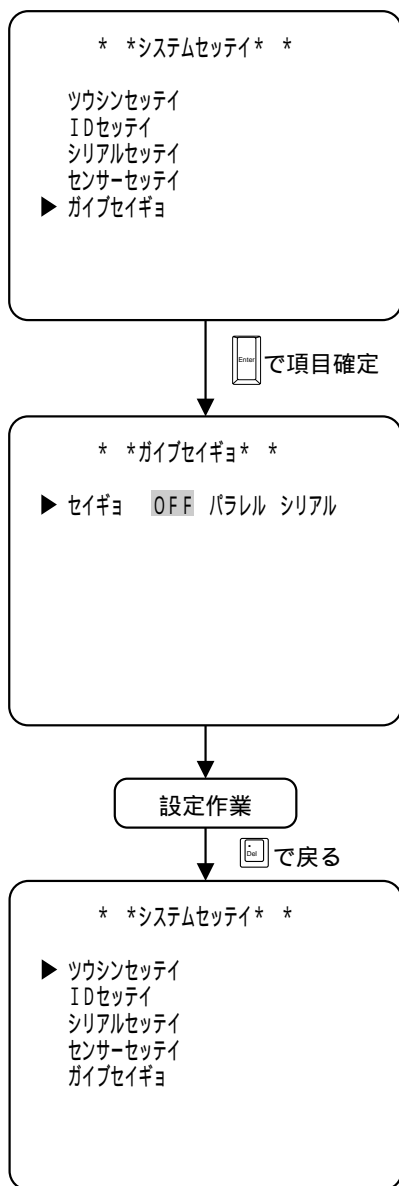
[メモ]

- { ツウシнтаイマ } を00minに設定した場合、タイマによる通信切断を行いません。通信スイッチで通信の切断を行ってください。

システム設定

外部制御の設定

端末外部から機器を制御する場合の設定を行います。



1. { ガイブセイギョ } 画面を開きます。
2. { セイギョ } 項目で、外部制御の種類を選択します。
 - OFF : 外部制御を受け付けません。本体のスイッチ、操作器から制御します。
 - パラレル: [無電圧パラレル入力端子] を利用し、外部から制御できます。
 - シリアル: [RS - 232C端子] または、[RS - 485端子] を利用し、外部から制御できます。
3. 設定が終了したら、 を押して、{ システムセッテイ } 画面へ戻ります。
4. もう一度 を押すと、メニュー設定を終了します。

[メモ]

- パソコンで外部から制御する場合 { ツウシンセッテイ } メニューの { シリアルタジュウ } 項目の設定内容によって外部制御で使用できる端子が変わります (下表参照)。

シリアルタジュウ設定	データ伝送用端子	外部制御用端子
OFF	-	RS-232C
232C	RS-232C	RS-485
485	RS-485	RS-232C

- { センサー } が「レベル」または「トリガ」に設定されているときは、パラレルポートによる外部制御はできません。センサー設定が優先となります。

システム設定

メニュー設定項目一覧

画面	項目	設定範囲	工場出荷設定	備考
ツウシンセッテイ	ツウシンモード	ソウホウコウ / タンホウコウ	ソウホウコウ	
	エイゾウ	ソウシン / ジュシン	受信	
	オンセイタジュウ	ON / OFF	ON	
	シリアルタジュウ	OFF / 232C / 485	OFF	
IDセッテイ	ジキョクID	1 ~ 254	1	単方向通信では無効
	アイテキョクID0	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID1	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID2	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID3	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID4	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID5	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID6	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID7	1 ~ 254	1	
	アイテキョクID8	1 ~ 254	1	
シリアルセッテイ	ボーレート	2400 / 4800 / 9600	9600	データは8bit固定
	パリティ	NONE / ODD / EVEN	NONE	
	ストップビット	1bit / 2bit	1bit	
センサーセッテイ	センサー	OFF / レベル / トリガ*	OFF	
	ツウシンタイマ	0 ~ 99分	0分	
ガイブセイギョ	ガイブセイギョ	OFF / パラレル / シリアル	OFF	

こんなときには

現象	原因と思われる項目	処置
電源が入らない	ACアダプターが正しく接続されていない。	ACアダプターのDC電源プラグを正しく接続し直してください。
	ACアダプターの電源プラグがACコンセントに接続されていない。	ACアダプターのAC電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。
	バッテリーが正しく接続されていない。	バッテリーケーブルを正しく接続し直してください。
	バッテリーが充電されていない。	バッテリーを充電してください。
接続できない。 (通信LEDが点灯しない)	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しく接続してください。
	相手端末の電源が入っていない。	相手端末の電源を入れてください。
	通信モード [単方向 / 双方向] 設定が相手端末と一致していない。	通信モード設定を相手端末と合わせてください。
	相手端末と周波数チャンネルが一致していない。	周波数チャンネル設定を相手端末と合わせてください。
	映像送信 / 受信設定が相手端末と同じになっている。	カメラ側を送信に、モニター側を受信に設定し直してください。
	相手局ID設定が、相手端末の自局IDと一致していない。	相手局ID設定に、相手端末の自局IDを設定してください。
	端末間の距離が1km以上ある。	端末間の距離が1km以下になるように設置してください。
	端末間に障害物が多い。	できるだけ端末間に障害物がないように設置してください。
ハウリングが発生する。	相手側のスピーカーとマイクの距離が近すぎる。	スピーカーとマイクを離してください。
音がでない。	イヤホンマイクやテレビモニター / VTRが正しく接続されていない。	音声出力端子に接続してください。
センサー発信できない。	センサーが正しく接続されていない。	センサーを正しく接続し直してください。
	センサー設定がOFFになっている。	センサー設定をトリガまたは、レベルに設定してください。
	センサー設定がレベルのとき、センサー信号の入力が短すぎる。	通信開始から通信切断まで、センサー信号をアクティブ (ON) にしてください。 または、センサー設定をトリガにしてください。
	IDの設定が相手端末と合っていない。	{ 相手局ID - 0 } に相手端末のIDを設定してください。

こんなときには

現象	原因と思われる項目	処置
シリアルデータ通信ができない。	シリアル多重設定がOFFになっている。	シリアル多重設定を「232C」または「485」に設定してください。
	シリアル多重設定と使用している端子の設定が一致していない。 (例えば「232C」のとき、RS - 485端子に接続している。)	使用するシリアルポートとシリアル多重設定を一致させてください。
	シリアル通信設定が相手端末、または、通信機器と一致していない。	シリアル通信設定を正しく設定し直してください。

付属品について

付属品	TD5515U66
ホイップアンテナ	1
バッテリー接続用ケーブル	1
同軸変換接栓	1
携帯用本体ケース	-
携帯用ベルト	-

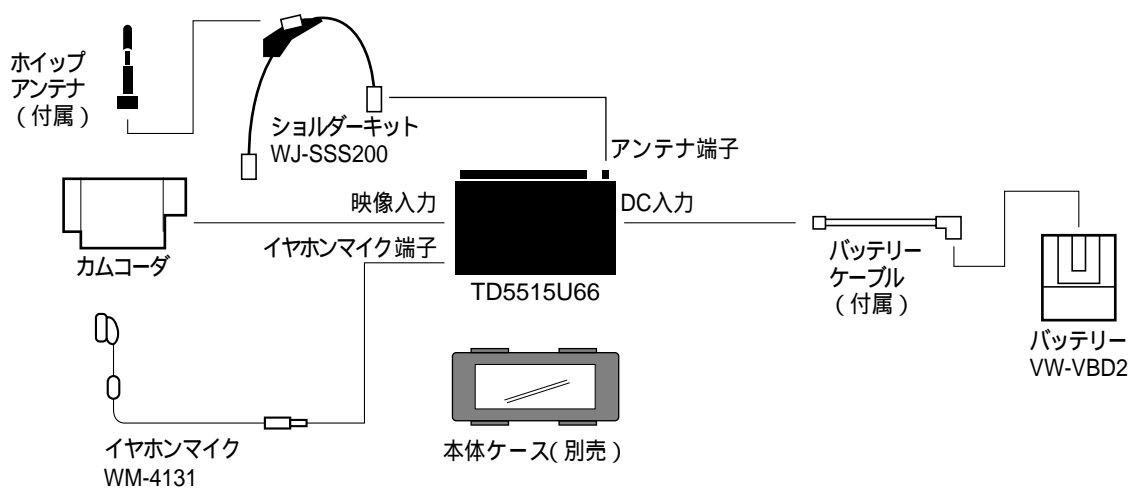
別売り品について

品名	品番	備考
操作器	WJ-SSK200	各種機能の設定に必要。
ショルダーキット	WJ-SSS200	TD5515U66を携帯して使用する場合に必要。
本体ケース	WJ-SSN202	TD5515U66を携帯して使用する場合に必要。
送受信機用防滴カバー	WJ-SSW202	TD5515U66用。雨天時に携帯して使用する場合に必要
ACアダプター	WV-PS38	AC100V電源使用時に必要。
バッテリー	VW-VBD2	バッテリーで使用するとき必要。
イヤホンマイク	WV-4131	音声の送受信に必要

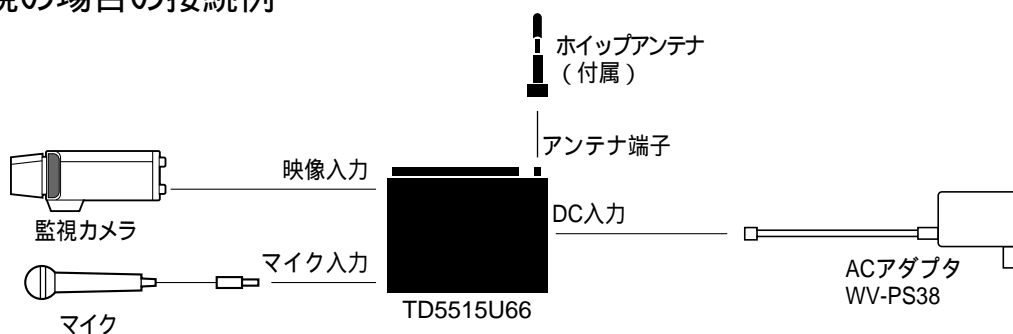
接続のしかた

接続例

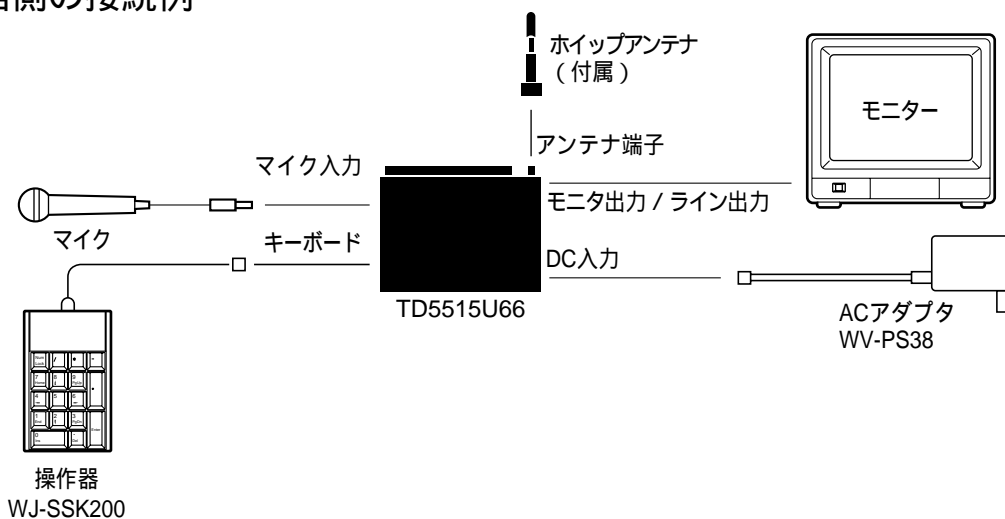
携帯する場合の接続例（概念図）



固定監視の場合の接続例



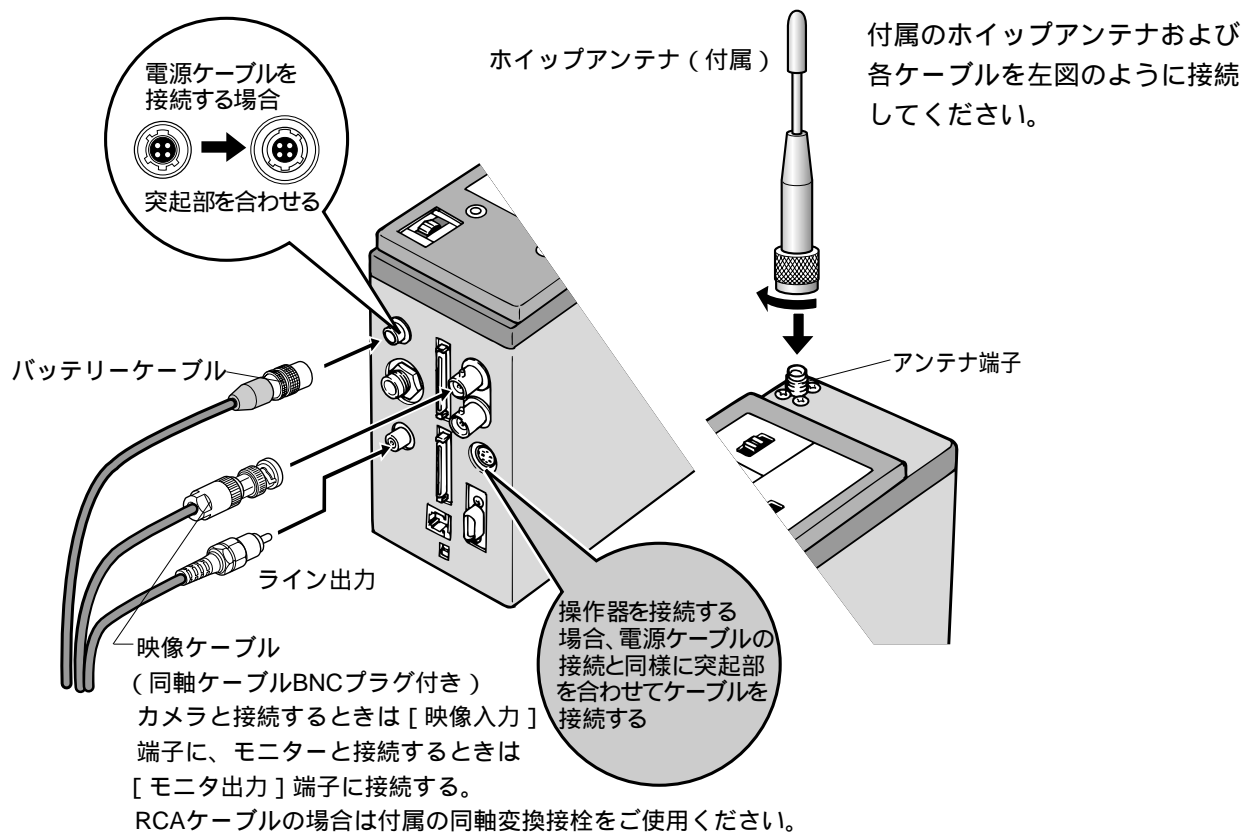
映像受信側の接続例



接続のしかた

ケーブルの接続

- SS画像送受信機 (TD5515U66) の場合

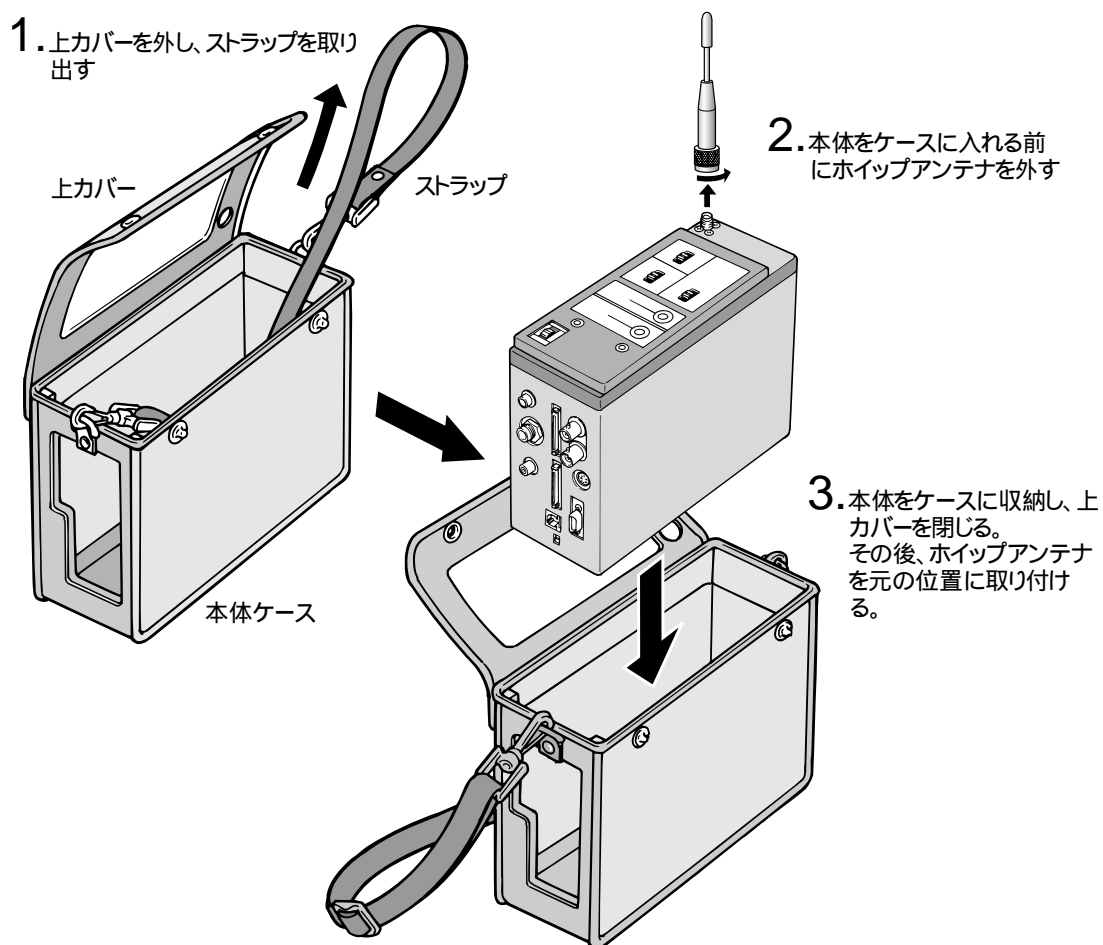


接続のしかた

本体ケース（WJ-SSN202：別売り）の取り付けかた

SS画像無線送受信機（TD5515U66）をご使用になる場合、本体を傷などから保護するためにも、別売りの本体ケース（WJ-SSN202）を使用することをおすすめします。

本体ケースを使用する場合、下図の手順で本体を収納してください。



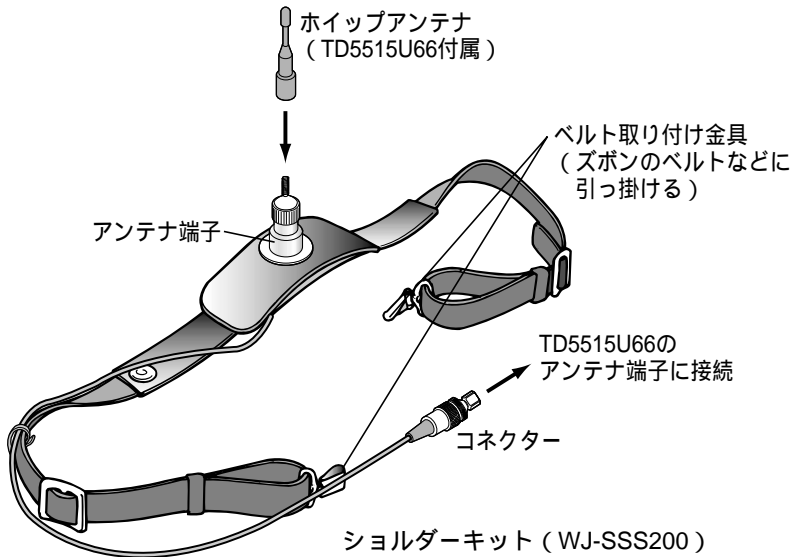
[メモ]

- 接続しているケーブル類をすべて外してから作業を行ってください。
- SS画像無線送受信機を雨天時など水に濡れる場所でご使用になる場合は、送受信機用防水カバー（WJ-SSW202：別売り）を取り付けてご使用願います。

接続のしかた

携帯して使用する場合

SS画像無線送受信機 (TD5515U66) を携帯してご使用になる場合、別売りのショルダーキット (WJ-SSS200) を取り付けて、使用することをおすすめします。ショルダーキットをご使用になる場合、下記の手順で取り付けてください。



1. SS画像無線送受信機 (TD5515U66) に付属されているホイップアンテナをアンテナ端子に接続します。
2. ショルダーキットのコネクターをSS画像無線送受信機の [アンテナ端子] に接続します。
3. ベルト取り付け金具をズボンのベルトなどに取り付けます

取り付けイメージ



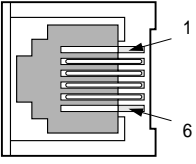
[メモ]

- SS画像無線送受信機を雨天時など水に濡れる場所でご使用になる場合は、送受信機用防水カバー (WJ-SSW202 : 別売り) を本体に取り付けてご使用願います。

接続のしかた

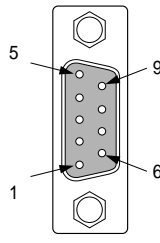
ピン配列

RS - 485ポートのピン配列



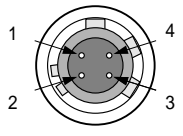
ピン番号	信号名 (SS送受信機から見た場合)	TD5515U66 内部ロジック
1	NC	
2	RA (RXD-)	データ受信
3	RB (RXD+)	
4	TA (TXD-)	データ送信
5	TB (TXD+)	
6	NC	

RS - 232Cポートのピン配列



ピン番号	信号名 (データ端末から見た場合)	TD5515U66 内部ロジック
1	CD	
2	RD	データ送信
3	SD	データ受信
4	ER	
5	SG	
6	DR	
7	RS	
8	CS	
9	CI	

電源コネクタのピン配列



ピン番号	信号名
1	7.2 V / 12 V
2	7.2 V / 12 V
3	GND
4	GND

パラレル入力 / 出力ポートのピン配列



ピン番号	信号名	備考
36	N. C.	
34	N. C.	
32	GND(bit15)	
30	GND(bit14)	
28	GND(bit13)	
26	GND(bit12)	
24	GND(bit11)	
22	GND(bit10)	
20	GND(bit9)	
18	GND(bit8)	
16	GND(bit7)	
14	GND(bit6)	
12	GND(bit5)	
10	GND(bit4)	
8	GND(bit3)	
6	GND(bit2)	
4	GND(bit1)	
2	GND(bit0)	

ピン番号	信号名	備考
35	N. C.	
33	N. C.	
31	bit 15	
29	bit 14	
27	bit 13	
25	bit 12	
23	bit 11	
21	bit 10	
19	bit 9	
17	bit 8	
15	bit 7	
13	bit 6	
11	bit 5	周波数チャンネル
9	bit 4	ルスイッチ
7	bit 3	静止画スイッチ
5	bit 2	画質モード
3	bit 1	スイッチ
1	bit 0	センサー入力通信スイッチ

[メモ]

パラレル入力 / 出力ポートの適合コネクタについて

日本航空電子工業(株)製 TX20A-36PH1-D2P1-D1相当品をお使いください。

インターフェース仕様

ここでは、SS画像無線送受信機TD5515U66（以降、端末と呼ぶ）をパソコン（以降、PCと呼ぶ）で制御するためのインターフェースについて説明します。

PCとの接続条件

端末-PC間のインターフェース

端末 - PC間のインターフェースを次に示します。

1. RS-232Cによる接続
2. RS-485による接続

接続条件

接続条件を右表に示します。
コマンドインターフェースはRS-232C、RS-485共通です。

項目	仕様
手順	無手順
通信方式	全2重方式
伝送速度	9600 bps
スタートビット	1 bit
データ長	8 bit
ストップビット	1 bit
パリティビット	なし

メッセージ仕様

PC - 端末間のメッセージは右表に従って定義してください。
なお、「コード/説明」欄の数値はすべて16進数です。

項目	コード/説明
STX	FF
レンジス	レンジスからデータ部のバイト長 (Hex)
予約	予約
機能項目	機能項目一覧表を参照 (次ページ参照)
機能種別	機能種別一覧表を参照 (次ページ参照)
データ部	情報内容 (Resultコード含む)
ETX	FE
BCC	レンジス ~ EXTまでの和に対する1の補数

: 数値はすべて16進数。

インターフェース仕様

機能項目一覧

機能項目を下表に示します。

コード (Hex)	メッセージ	機能種別コード									
		登録変更		登録通知		状態変更		状態通知		状態遷移通知	
		要求	応答	要求	応答	要求	応答	要求	応答	要求	応答
		00	01	10	11	20	21	30	31	40	41
01	直接ID指定発信										
03	メモリID発信										
04	切断要求										
08	通信状態/システム状態										
0A	通信モード設定										
0E	自局ID設定										
16	相手局ID設定										
17	周波数チャンネル設定										
20	音声ON/OFF設定										
30	映像送信/受信設定										
33	画質モード設定										
34	静止画設定										
50	シリアル設定										
54	センサー設定										
84	バージョン										
87	システム設定初期化										

: 機能種別コード (Hex) とコマンドの意味は機能種別一覧の表 (下表) を参照してください。

機能種別一覧

機能種別を下表に示します。

コード(Hex)	コマンド名	方向		備考
00	登録変更要求	PC	端末	メニュー設定値の変更を要求。
01	登録変更応答	端末	PC	上記要求に対する受け付け / 拒否の応答。
10	登録通知要求	PC	端末	メニュー設定値の通知を要求。
11	登録通知応答	端末	PC	上記要求に対する受け付け / 拒否の応答。
20	状態変更要求	PC	端末	通信開始 / 停止、画質モードなどの変更要求。
21	状態変更応答	端末	PC	上記要求に対する受け付け / 拒否の応答。
30	状態通知要求	PC	端末	通信状態、画質モードなどの状態通知要求
31	状態通知応答	端末	PC	上記要求に対する受け付け / 拒否の応答。
40	状態遷移通知	端末	PC	通信開始 / 切断を通知。
41	状態遷移通知応答	PC	端末	上記要求に対する受け付け / 拒否の応答。

: メニュー表示中 / 通信中は変更できません。

インターフェース仕様

Resultコード

端末への要求に対する結果や通信状態Resultコードで確認できます。

通信状態 : bit0からbit3

エラー状態 : bit6からbit8

なお、bit4とbit5は予約bitです。

・ 通信状態

bit 3	bit 2	bit 1	bit 0	意 味
0	0	0	0	スタンバイ (非通話中)
0	0	0	1	リンク接続処理中
0	0	1	0	Reserve
0	0	1	1	Reserve
0	1	0	0	通信中
0	1	0	1	Reserve
0	1	1	0	Reserve
0	1	1	1	Reserve
1	0	0	0	Reserve
1	0	0	1	リンク切断処理中
1	0	1	0	Reserve
1	0	1	1	Reserve
1	1	0	0	Reserve
1	1	0	1	Reserve
1	1	1	0	Reserve
1	1	1	1	Reserve

・ 予約

bit 5	bit 4	意 味
1	1	Reserve
0	0	Reserve
0	1	Reserve
1	0	Reserve

・ エラー状態

bit 7	bit 6	意 味
1	1	Reserve
0	0	受け付け
0	1	Reserve
1	0	拒否 (データ不正) : 受信したデータが設定範囲外の場合
1	1	拒否 (状態不一致) : 設定変更が禁止されている場合

: 機能項目「通信状態/システム状態」でのみ有効。他の機能項目時は無効。

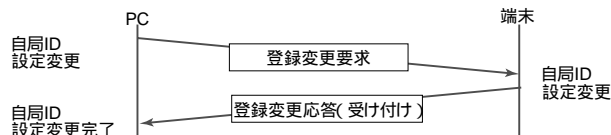
インターフェース仕様

PC起動の通信シーケンス

端末はPCからの下記に示す要求メッセージを受け取ると、端末状態を「応答」メッセージとしてPCに返信します。

- 登録変更要求
- 登録通知要求
- 状態変更要求
- 状態通知要求

例:PC起動のシーケンス(自局ID設定変更)



端末がPCからコマンドを受信したとき、下表に示す処理を行います。

• 「登録変更要求」受信時の処理

データ受信時の状態	処 理
スタンバイ (非通信中) + メニューOFF + 受信エラーなし	「受け付け」を応答する。要求に従い登録を変更する。
スタンバイ (非通信中) + メニューOFF + 設定値範囲外	「拒否 (データ不正)」を応答する。
通信中 + 受信データエラーなし	「拒否 (状態不一致)」を応答する。
メニューON + 受信データエラーなし	「拒否 (状態不一致)」を応答する。
機能項目該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
機能種別該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
メッセージフォーマットエラー レングス不正 BCC不正	受信データを廃棄する。応答なし。

• 「状態変更要求」受信時の処理

データ受信時の状態	処 理
受信データエラーなし	「受け付け」を応答する。要求に従い登録を変更する。
設定値範囲外	「拒否 (データ不正)」を応答する。
機能項目該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
機能種別該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
メッセージフォーマットエラー	受信データを廃棄する。応答なし。

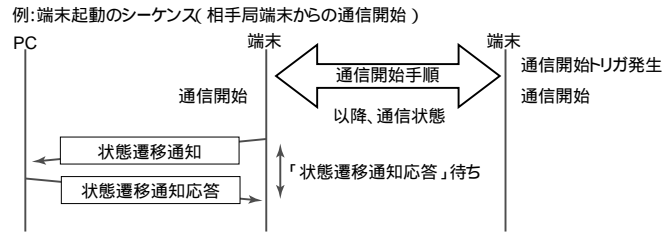
• 「登録 / 状態通知要求」受信時の処理

データ受信時の状態	処 理
データエラーなし	「受け付け」を応答する。要求に従い登録を変更する。
機能項目該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
機能種別該当なし	受信データを廃棄する。応答なし。
メッセージフォーマットエラー	受信データを廃棄する。応答なし。

インターフェース仕様

PC起動の通信シーケンス

端末は通信状態が遷移したことをPCへ通知します。



• 「状態遷移通知」の起動と処理

起 動 条 件	処 理
通信開始	通信状態 / システム状態 (通信中) を通知する。
通信切断	通信状態 / システム状態 (スタンバイ (非通信中)) を通知する。

• 「登録 / 状態通知要求」受信時の処理

データ受信時の状態	処 理
受信タイムアウト (1~2回)	「状態遷移通知」を再送する。
受信タイムアウト (3回)	「状態遷移通知」処理を終了する。
「状態遷移通知応答」以外のメッセージ	廃棄。

: 端末は「状態遷移通知応答」待ちの間、他のコマンドを受け付けません。

「状態遷移通知応答」の受信、またはタイムアウトにより、次のコマンドの受け付けを再開します。

インターフェース仕様

メッセージの詳細

通信系

直接ID指定発信

機能項目	直接ID指定発信	方向	PC 端末
コマンド名：状態変更要求			
概要	ホストPCから相手局IDを直接指定して発信を要求します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	01 (直接ID指定発信)
機能種別	20 (状態変更要求)
相手局ID	01 ~ FE
ETX	FE
BCC	

機能項目	直接ID指定発信	方向	端末 PC
コマンド名：状態変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none">状態変更要求を受信後、コマンドの受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。受け付け通知後以下の処理を行います。スタンバイ (非通信中) の場合、指定された相手局IDへ発信します。通信中の場合、現在の通信を切断し、指定された相手局に発信します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	01 (直接ID発信)
機能種別	21 (状態変更応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

メモリーID指定発信

機能項目	メモリーID指定発信	方向	PC 端末
コマンド名：状態変更要求			
概要	ホストPCから端末にメモリーされている相手局IDを指定して発信を要求します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	03 (メモリーID発信)
機能種別	20 (状態変更要求)
登録ID No.	00 ~ 09 (相手局ID0 ~ 9)
ETX	FE
BCC	

機能項目	メモリーID指定発信	方向	端末 PC
コマンド名：状態変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none">状態変更要求を受信後、コマンドの受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。受け付け通知後以下の処理を行います。スタンバイ (非通信中) の場合、指定された相手局IDへ発信します。通信中の場合、現在の通信を切断し、指定された相手局に発信します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	03 (メモリーID発信)
機能種別	21 (状態変更応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

インターフェース仕様

切断要求

機能項目	：切断要求	方向	：PC 端末
コマンド名：状態変更要求			
概要	ホストPCから通信の切断を要求します。		

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	04 (切断要求)
機能種別	20 (状態変更要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目	：切断要求	方向	：端末 PC
コマンド名：状態変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none">状態変更要求を受信後、コマンドの受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。受け付け通知後、通信を切断します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	04 (切断要求)
機能種別	21 (状態変更応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

注：表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

通信状態 / システム状態

機能項目	通信状態 / システム状態	方向	PC 端末
コマンド名 : 状態通知要求			
概要	ホストPCから端末へ通信状態の通知を要求します。		

機能項目	通信状態 / システム状態	方向	端末 PC
コマンド名 : 状態通知応答			
概要	状態通知要求を受信後、通信状態 (Resultコード) をホストPCへ通知します。		

機能項目	通信状態 / システム状態	方向	端末 PC
コマンド名 : 状態遷移通知			
概要	端末は通信を開始 / 切断したとき、ホストPCに対して通信状態 (Resultコード) を通知します。		

機能項目	通信状態 / システム状態	方向	PC 端末
コマンド名 : 状態遷移通知応答			
概要	状態遷移通知を受信後、PCは通信状態 (Resultコード) を端末へ通知します。		

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	08 (通信 / システム状態)
機能種別	30 (状態通知要求)
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	08 (通信 / システム状態)
機能種別	31 (状態通知応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	08 (通信 / システム状態)
機能種別	40 (状態遷移通知)
Result	
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	08 (通信 / システム状態)
機能種別	41 (状態遷移応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

通信モードの設定

機能項目 : 通信モード設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録変更要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ通信モードの変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	0A (通信モード設定)
機能種別	00 (登録変更要求)
通信モード	00 (単方向) 01 (双方向)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 通信モード設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、通信モードを変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	0A (通信 / システム状態)
機能種別	01 (状態変更応答)
通信モード	00 (単方向) 01 (双方向)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 通信モード設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録通知要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ通信モードの変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	0A (通信モード設定)
機能種別	10 (登録通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 通信モード設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録通知応答	
概要	<p>登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) と通信モード設定内容をホストPCへ通知します。</p>

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	0A (通信モード設定)
機能種別	11 (登録通知応答)
通信モード	00 (単方向) 01 (双方向)
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

自局IDの設定

機能項目 : 自局ID設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録変更要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ自局IDの変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	0E (自局ID設定)
機能種別	00 (登録変更要求)
自局ID	01 ~ FE
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 自局ID設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、自局IDを変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	0E (自局ID設定)
機能種別	01 (登録変更応答)
自局ID	01 ~ FE
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 自局ID設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録通知要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ自局IDの設定内容の通知を要求します。</p>

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	0E (自局ID設定)
機能種別	10 (登録通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 自局ID設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録通知応答	
概要	<p>登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) と自局IDをホストPCへ通知します。</p>

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	0E (自局ID設定)
機能種別	11 (登録通知応答)
自局ID	01 ~ FE
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

相手局IDの設定

機能項目	相手局ID設定	方向	PC 端末
コマンド名：登録変更要求			
概要	ホストPCから端末へ相手局IDの変更を要求します。		

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	16 (相手局ID設定)
機能種別	00 (登録変更要求)
メモリーNo.	00 ~ 09 (相手局ID0 ~ 9)
相手局ID	01 ~ FE
ETX	FE
BCC	

機能項目	相手局ID設定	方向	端末 PC
コマンド名：登録変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、指定されたNo.の相手局IDを変更します。 		

STX	FF
レングス	07
予約	00
機能項目	16 (相手局ID設定)
機能種別	01 (登録変更応答)
メモリーNo.	00 ~ 09 (相手局ID0 ~ 9)
相手局ID	01 ~ FE
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目	相手局ID設定	方向	PC 端末
コマンド名：登録通知要求			
概要	ホストPCから端末へ相手局IDの設定内容の通知を要求します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	16 (相手局ID設定)
機能種別	10 (登録通知要求)
メモリーNo.	00 ~ 09 (相手局ID0 ~ 9)
ETX	FE
BCC	

機能項目	相手局ID設定	方向	端末 PC
コマンド名：登録通知応答			
概要	登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) と指定された相手局IDをホストPCへ通知します。		

STX	FF
レングス	07
予約	00
機能項目	16 (相手局ID設定)
機能種別	11 (登録変更応答)
メモリーNo.	00 ~ 09 (相手局ID0 ~ 9)
相手局ID	01 ~ FE
Result	
ETX	FE
BCC	

注：表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

周波数 (チャンネル: ch) の設定

機能項目 : 周波数 (ch) 設定	方向: PC 端末
コマンド名: 状態変更要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ周波数 (ch) の変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	17 (周波数 (ch) 設定)
機能種別	20 (状態変更要求)
周波数 (ch)	00 ~ 02 (00=1ch, 01=2ch, 02=3ch)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 周波数 (ch) 設定	方向: 端末 PC
コマンド名: 状態変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、周波数 (ch) を変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	17 (周波数 (ch) 設定)
機能種別	21 (状態変更応答)
周波数 (ch)	00 ~ 02 (00=1ch, 01=2ch, 02=3ch)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 周波数 (ch) 設定	方向: PC 端末
コマンド名: 状態通知要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ周波数 (ch) の設定内容の通知を要求します。</p>

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	17 (周波数 (ch) 設定)
機能種別	30 (状態通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 周波数 (ch) 設定	方向: 端末 PC
コマンド名: 状態通知応答	
概要	<p>登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) と周波数 (ch) の設定内容をホストPCへ通知します。</p>

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	17 (周波数 (ch) 設定)
機能種別	31 (登録通知応答)
周波数 (ch)	00 ~ 02 (00=1ch, 01=2ch, 02=3ch)
Result	
ETX	FE
BCC	

注: 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

音声系

音声ON / OFFの設定

機能項目 : 音声ON / OFF設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録変更要求	
概要	ホストPCから端末へ音声のON / OFF設定の変更を要求します。

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	20 (音声ON / OFF)
機能種別	00 (登録変更要求)
音声ON / OFF	00 (OFF)、01 (ON)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 音声ON / OFF設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、音声のON / OFFを変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	20 (音声ON / OFF)
機能種別	01 (登録変更応答)
音声ON / OFF	00 (OFF)、01 (ON)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 音声ON / OFF設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 登録通知要求	
概要	ホストPCから端末へ音声のON / OFF設定内容の通知を要求します。

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	20 (音声ON / OFF)
機能種別	10 (登録通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 音声ON / OFF設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 登録通知応答	
概要	登録変更要求を受信後、受け付け (Resultコード) と音声ON / OFF設定内容をホストPCへ通知します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	20 (音声ON / OFF)
機能種別	11 (登録通知応答)
音声ON / OFF	00 (OFF)、01 (ON)
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

映像系

映像の送信 / 受信設定

機能項目	映像送信 / 受信設定	方向	PC 端末
コマンド名: 登録変更要求			
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の送信 / 受信設定の変更を要求します。</p>		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	30 (映像送信 / 受信設定)
機能種別	00 (登録変更要求)
送信 / 受信	00 (送信) 01 (受信)
ETX	FE
BCC	

機能項目	映像送信 / 受信設定	方向	端末 PC
コマンド名: 登録変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録変更要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、映像の送信 / 受信設定を変更します。 		

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	30 (映像送信 / 受信設定)
機能種別	01 (登録変更応答)
送信 / 受信	00 (送信) 01 (受信)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目	映像送信 / 受信設定	方向	PC 端末
コマンド名: 登録通知要求			
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の送信 / 受信設定内容の通知を要求します。</p>		

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	30 (映像送信 / 受信設定)
機能種別	10 (登録通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目	映像送信 / 受信設定	方向	端末 PC
コマンド名: 登録通知応答			
概要	<p>登録変更要求を受信後、受け付け (Resultコード) と映像の送信 / 受信設定内容をホストPCへ通知します。</p>		

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	30 (映像送信 / 受信設定)
機能種別	11 (登録通知応答)
送信 / 受信	00 (送信) 01 (受信)
Result	
ETX	FE
BCC	

注: 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

画質モードの設定

機能項目 : 画質モード設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 状態変更要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の画質モード設定の変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	33 (画質モード設定)
機能種別	20 (状態変更要求)
画質モード	00 (動き優先) 01 (標準) 02 (画質優先)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 画質モード設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 状態変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、映像の画質モード設定を変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	33 (画質モード設定)
機能種別	21 (状態変更応答)
画質モード	00 (動き優先) 01 (標準) 02 (画質優先)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 画質モード設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 状態通知要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の画質モード設定内容の通知を要求します。</p>

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	33 (画質モード設定)
機能種別	30 (状態通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 画質モード設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 状態通知応答	
概要	<p>登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) と映像の画質モード設定内容をホストPCへ通知します。</p>

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	33 (画質モード設定)
機能種別	31 (状態通知応答)
画質モード	00 (動き優先) 01 (標準) 02 (画質優先)
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

静止画の設定

機能項目 : 静止画設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 状態変更要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の静止画設定の変更を要求します。</p>

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	34 (静止画設定)
機能種別	20 (状態変更要求)
静止画	00 (OFF : 動画) 01 (ON : 静止画)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 静止画設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 状態変更応答	
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、映像の静止画設定を変更します。

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	34 (静止画設定)
機能種別	21 (状態変更応答)
静止画	00 (OFF : 動画) 01 (ON : 静止画)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 静止画設定	方向 : PC 端末
コマンド名 : 状態通知要求	
概要	<p>ホストPCから端末へ映像の静止画設定内容の通知を要求します。</p>

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	34 (静止画設定)
機能種別	30 (状態通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : 静止画設定	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 状態通知応答	
概要	<p>登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) と映像の静止画設定内容をホストPCへ通知します。</p>

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	34 (静止画設定)
機能種別	31 (状態通知応答)
静止画	00 (OFF : 動画) 01 (ON : 静止画)
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

データポート

シリアル設定

機能項目	：シリアル設定	方向	：PC 端末
コマンド名：登録変更要求			
概要	ホストPCから端末へシリアル設定の変更を要求します。		
	注：インターフェースの変更内容は電源を立ち上げなおした後に有効になります。		

：データ部

機能項目	：シリアル設定	方向	：端末 PC
コマンド名：登録変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録通知要求を受信後、受け付け/拒否（Resultコード）をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、シリアル設定を変更します。 		

機能項目	：シリアル設定	方向	：PC 端末
コマンド名：登録通知要求			
概要	ホストPCから端末へシリアル設定内容の通知を要求します。		

機能項目	：シリアル設定	方向	：端末 PC
コマンド名：登録通知応答			
概要	登録通知要求を受信後、受け付け（Resultコード）とシリアル設定内容をホストPCへ通知します。		

STX	FF
レングス	09
予約	00
機能項目	50（シリアル設定）
機能種別	00（登録変更要求）
速度	00（2400bps）01（4800bps）02（9600bps）
データ長(予約)	01（8bit：固定）
ストップビット	00（1bit）01（2bit）
パリティビット	00（なし）01（奇数）02（偶数）
インターフェース	00（OFF）01（RS-232C）02（RS-485）
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	0A
予約	00
機能項目	50（シリアル設定）
機能種別	01（登録変更応答）
データ部	データ部フォーマットは「登録変更要求」と同じ。
Result	
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	50（シリアル設定）
機能種別	10（登録通知要求）
ETX	FE
BCC	

STX	FF
レングス	0A
予約	00
機能項目	50（シリアル設定）
機能種別	11（登録通知応答）
データ部	データ部フォーマットは「登録変更要求」と同じ。
Result	
ETX	FE
BCC	

注：表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

センサーの設定

機能項目	センサー設定	方向：PC 端末
コマンド名：登録変更要求		
概要	ホストPCから端末へセンサー設定の変更を要求します。	

STX	FF
レングス	06
予約	00
機能項目	54 (センサー設定)
機能種別	00 (登録変更要求)
センシング方法の設定	00 (OFF) 01 (レベル) 02 (エッジ)
通信継続時間	0 ~ 63 (0 ~ 99分：エッジ設定時に有効)
ETX	FE
BCC	

機能項目	センサー設定	方向：端末 PC
コマンド名：登録変更応答		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 登録通知要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。 受け付け通知後、センサー設定を変更します。 	

STX	FF
レングス	07
予約	00
機能項目	54 (センサー設定)
機能種別	01 (登録変更応答)
センシング方法の設定	00 (OFF) 01 (レベル) 02 (エッジ)
通信継続時間	0 ~ 63 (0 ~ 99分：エッジ設定時に有効)
Result	
ETX	FE
BCC	

機能項目	センサー設定	方向：PC 端末
コマンド名：登録通知要求		
概要	ホストPCから端末へセンサー設定内容の通知を要求します。	

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	54 (センサー設定)
機能種別	10 (登録通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目	センサー設定	方向：端末 PC
コマンド名：登録通知応答		
概要	登録通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) とセンサー設定内容をホストPCへ通知します。	

STX	FF
レングス	07
予約	00
機能項目	54 (センサー設定)
機能種別	11 (登録通知応答)
センシング方法の設定	00 (OFF) 01 (レベル) 02 (エッジ)
通信継続時間	0 ~ 63 (0 ~ 99分：エッジ設定時に有効)
Result	
ETX	FE
BCC	

注：表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

メンテナンス

バージョン

機能項目 : バージョン	方向 : PC 端末
コマンド名 : 状態通知要求	
概要	ホストPCから端末へソフトウェアバージョンの通知を要求します。

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	84 (バージョン)
機能種別	30 (状態通知要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目 : バージョン	方向 : 端末 PC
コマンド名 : 状態通知応答	
概要	状態通知要求を受信後、受け付け (Resultコード) とソフトウェアバージョンをホストPCへ通知します。

STX	FF
レングス	0A
予約	00
機能項目	84 (バージョン)
機能種別	31 (状態通知応答)
バージョン0	バージョンNo. 5byte
バージョン1	
バージョン2	
バージョン3	
バージョン4	
Result	
ETX	FE
BCC	

注 : 表中の数値はすべて16進数表記です。

インターフェース仕様

システム設定初期化

機能項目	システム設定初期化	方向	PC 端末
コマンド名：登録変更要求			
概要	ホストPCから端末へ工場出荷状態へ戻すことを要求します。		

STX	FF
レングス	04
予約	00
機能項目	87 (システム設定初期化)
機能種別	00 (変更登録要求)
ETX	FE
BCC	

機能項目	システム設定初期化	方向	端末 PC
コマンド名：登録変更応答			
概要	<ul style="list-style-type: none">登録通知要求を受信後、受け付け/拒否 (Resultコード) をホストPCへ通知します。受け付け通知後、全ての設定を工場出荷時の状態へ戻します。		

STX	FF
レングス	05
予約	00
機能項目	87 (システム設定初期化)
機能種別	01 (登録変更応答)
Result	
ETX	FE
BCC	

注：表中の数値はすべて16進数表記です。

仕様

• 基本仕様

電源電圧	DC 6 ~ 15 V
消費電力	12.0 W
使用温度範囲	0 ~ +45
寸法	170.5(幅) × 139.5(高さ) × 69.5(奥行き)mm
質量	約 980 g
仕上げ	塗装 (インディゴメタリック色)

• 無線系

送信出力	10 mW / MHz
通信速度	1 Mbps

• 映像系

信号方式	NTSC
動画像コーデック	H.261 / ITU-T準拠
映像入力	NTSC 1.0 Vp-p / 75 × 1 (BNC端子)
モニター出力	NTSCコンポジット信号 × 1 (BNC端子)
画像遅延	1 s以内

• 音声系

音声コーデック	G.721 / ITU-T準拠 (ADPCM)
マイク入力 (イヤホンマイク端子)	-42 dBm / 2.2 k
イヤホン出力 (イヤホンマイク端子)	1 mW / 32 k
ライン入力	-
マイク入力	-60 dBm / 5 k 以上 × 1 (大型単頭)
ライン出力	-10 dBm / 10 k × 1 (RCA端子)
音声遅延	100 ms以内

• 制御系

RS - 232C端子	2 400 ~ 9 600 bps, (D-sub 9ピン)
RS - 485端子	2 400 ~ 9 600 bps, (モジュラー6極4心)
パラレル入力端子	16 bit, 線路抵抗 30 Ω 以下
パラレル出力端子	16 bit, 耐電圧 15 V, 許容電流 200 mA

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品番	TD5515U66
販 売 店 名	☎ () -				

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

NM0300-0

S8QA5479AN